

取扱説明書

給湯専用

家庭用ヒートポンプ給湯機



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
でございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.4～5)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、工事説明書とともに大切に保管してください。
- システム品番は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットのセット品番です。各ユニットの品番は本体のネームプレート(P.7)と本書の「仕様」(P.34)でご確認ください。

システム品番

一般地向け

■高圧力型

●屋外用

HE-J37JZS

HE-J46JZS

●屋内用

HE-J37JZMS

HE-J46JZMS

■高圧力型・耐塩害仕様

●屋外用

HE-J37JZES

HE-J46JZES

寒冷地向け

■高圧力型

●屋外用

HE-F37JZS

HE-F46JZS

●屋内用

HE-F37JZMS

HE-F46JZMS



保証書別添付

工事説明書別添付

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で
「**ご愛用者登録**」をしてください

詳しくは裏表紙をご覧ください

この給湯機は、 大気熱を利用し、 主に電気料金が割安な夜間時間帯に お湯を沸かします

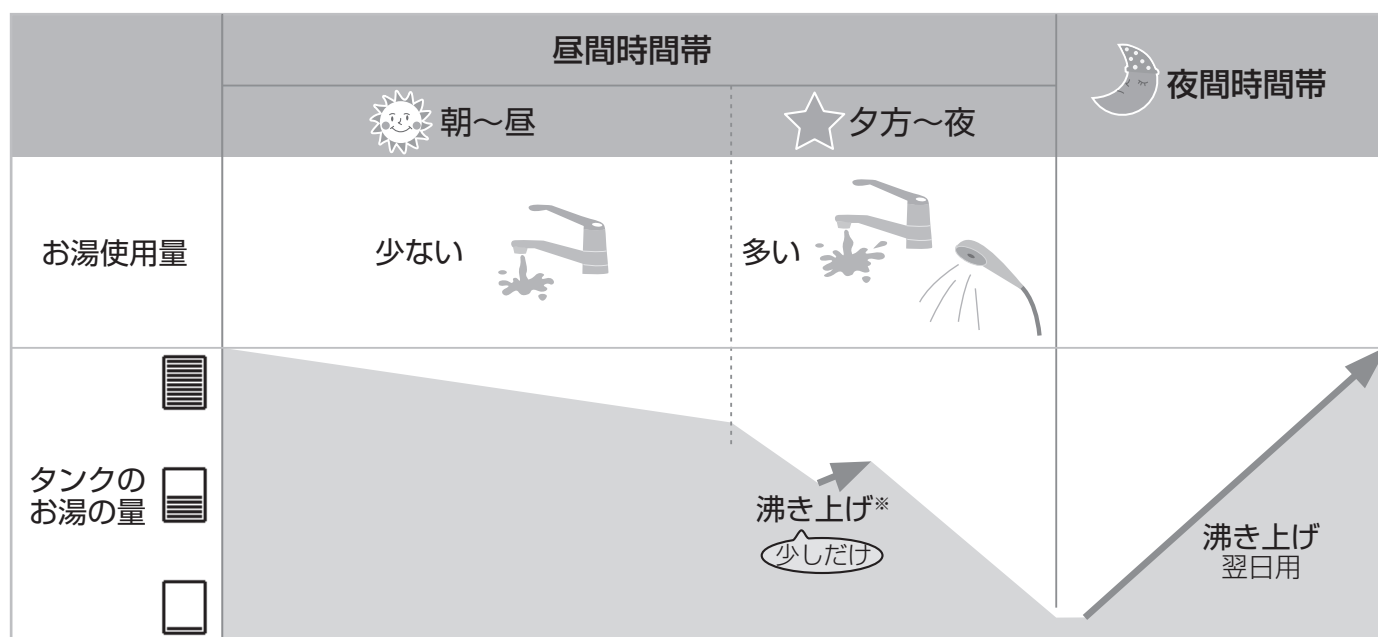
ご契約の電気料金プランの夜間時間帯と現在時刻を
正しく設定して、ご使用ください。



沸き上げモードは「おまかせ節約」と「おまかせ」の2通りあります(P.12)
まずは『おまかせ節約』でお使いください。

夜間時間帯に沸かすのが基本		+	足りないときは昼間時間帯も沸かす
おまかせ 節約 お買い上げ 時の設定	省エネ推奨モードです ●実際に使ったお湯の量を学習し、各家庭に合わせて最適な量を自動で沸かします。 ●来客などで急にお湯をたくさん使う場合は、早めに「沸き増し」(P.11)を押してください。	+	●お湯がなくなりそうになったとき。 ●夕方以降に使うお湯が足りないと予測したとき。(午後5時以降) 夜使うお湯は、冷めないように使う直前に沸かしてムダを抑えます。
	おまかせ ●「おまかせ節約」ではお湯が足りない場合実際に使ったお湯の量を学習し、「おまかせ節約」より多めに、自動で沸かします。	+	●1日に使うお湯が足りないと予測したとき。 ●お湯を一番使う時間帯に足りないと予測したとき。 ●お湯がなくなりそうになったとき。

◆『おまかせ節約』の沸き上げイメージ



※ 30～60分程度。
当日の使用状況に応じて沸き上げを行わないこともあります。

もくじ

ページ

Q お問い合わせの多い A 項目を探しやすく しました



屋間も沸き上げるのはなぜ？ ▶ 2ページ

残湯量の表示が
使っていないのに減る ▶ 30ページ

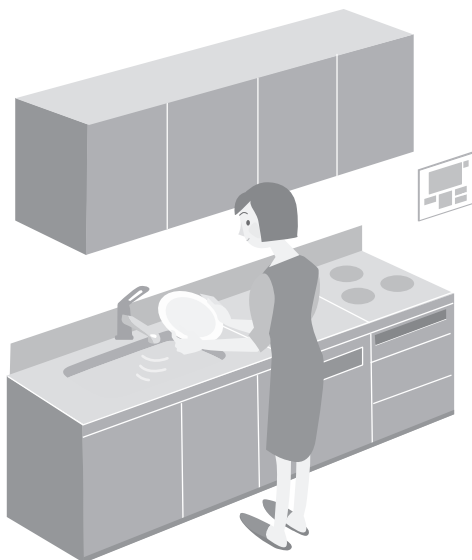
使用可能湯量の表示が
毎朝、違う ▶ 30ページ

お湯が ぬるい ▶ 10ページ
足りない ▶ 11ページ

冬場に
お湯が出ない ▶ 28ページ

浴そうなどに
青い色がつく ▶ 6ページ

タンクの水を抜きたい ▶ 24ページ



確認と準備

安全上のご注意	4
使用上のお願い	6
各部の名前と働き ・ヒートポンプユニット ・貯湯ユニット・リモコン	7
メニュー画面項目一覧表	9

使いかた

お湯を使う(給湯)	10
お湯をはる ・お知らせ湯量	11
沸き増しする	11
沸き上げモードを変える ・おまかせ節約・おまかせ	12
屋間の沸き上げを停止する	12
ダブルピークカット設定をする	13
ピークセーブする	14
夜間沸き上げ時間をずらす	14
ソーラーチャージ設定をする	15
設定を変える	16
電力契約の設定をする	18
シンプル画面を設定する	20
「給湯ガイド」を見る	20

お手入れと点検

お手入れする	22
点検する ・漏電しゃ断器・逃し弁・定期点検	23

必要なとき

一定期間使わないとき (沸き上げ休止・水抜き)	24
タンクのお湯(水)を抜いたとき	26
断水したとき・停電したとき	27
凍結のおそれがあるとき	28
故障かな？	29
こんな表示が出たら…	33
仕様	34
保証とアフターサービス	35
ご相談窓口	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容(禁止事項)です。



実行しなければならない内容(強制事項)です。



やけどや感電などを防ぐために



警告

据え付け後の確認



禁止

- 近くにガス類の容器や引火物を置かない(電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります)



アース線接続

- アース工事がされていることを確認する(感電の原因になります)
お買い上げの販売店にご確認ください。

取り扱い時



禁止

- 熱湯や熱くなる部分に触れない(やけどの原因になります)
 - ・ 給湯時は、給湯栓本体に触れない。
- 使い始めは、しばらくお湯に触れない(空気の混じった熱いお湯が飛び散ることがあるため、やけどの原因になります)
特に朝の使い始めは、ご注意ください。
- ヒートポンプユニットは、誤った扱いをしない(P.7)
 - ・ 吹出口に指や棒などを入れない。(ファンが高速回転しているため、けがの原因になります)
 - ・ 上に乗ったり、物を載せたりしない。(ベランダなど高い所に設置している場合、落下や転倒によるけがの原因になります)



必ず守る

- お湯を使うときは、お湯の温度を確認する(やけどの原因になります)
 - ・ 入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる。
 - ・ 給湯温度を変えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確かめる。
- 停電中および停電復旧後にお湯を使うときは、湯温を確かめる(湯温調節ができずに、高温のお湯が出ることがあるため、やけどの原因になります)

点検・異常時



禁止

- 絶対に、分解や修理・改造・移設をしない(感電や火災の原因になります)
修理・移設はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 熱湯や熱くなる部分に触れない(やけどの原因になります)
 - ・ 貯湯ユニットの排水時や逃し弁の点検時は、排水配管や排水口、逃し弁(レバー以外)に触れない。(P.23、25)
 - ・ ヒートポンプユニット配管や給湯配管(P.7)には触れない。
 - ・ 逃し弁の点検時やヒートポンプユニットの水抜き時、非常用取水栓の使用時は、お湯に触れない。(P.23、25、27)
- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない(感電の原因になります)
- 貯湯ユニットの前板やヒートポンプユニットのカバーを開けない(感電の原因になります)



必ず守る

- 漏電しゃ断器は、作動することを定期的に確認する(P.23)(感電の原因になります)
作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を「切」にする(発煙・発火、感電、やけどのおそれがあります)
異常・故障例
 - ・ 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
 - ・ 使用中に、こげくさい臭いがしたり異常な音や振動音がする。
 - ・ 熱いお湯が出続ける。すぐに、お買い上げの販売店へ点検・修理を依頼してください。
- 冷媒系統の据え付け・移設・修理完了時には、販売店や専門業者に次のことを確認する
 - ・ 指定冷媒を使用していること。(指定以外の冷媒を使用すると機器の故障や破裂、けがなどの原因になります)



けがや水漏れなどを防ぐために

⚠ 注意

据え付け後の確認



必ず守る

- 据え付け後は、次のことを確認する
 - ・ 貯湯ユニットの脚が床面に固定されていること。（転倒によるけがの原因になります）
 - ・ 貯湯ユニットが、防水処理・排水処理済みの床面に設置されていること。（水漏れすると、階下などに被害を及ぼす原因になります）
 - ・ 配管が凍結予防工事済みであること。（冬場など、凍って破損し、やけどや水漏れの原因になります）

不備のある場合は、お買い上げの販売店にご確認・ご依頼ください。

取り扱い時



禁止

- 配管に無理な力を加えない
（破損によるやけどや水漏れの原因になります）
- ヒートポンプユニットのアルミ部分に触れない
（手を切る原因になります）
- ヒートポンプユニットの据付台が破損したまま放置しない
（落下や転倒による、けがの原因になります）
- 水洗いはしない
（漏電による火災や感電の原因になります）
- 凍結のおそれがあるときは漏電しゃ断器を切らない
（配管などが凍結して破損することがあるため、水漏れの原因になります）
漏電しゃ断器を切るときは、水抜きをしてください。（P.25）
- そのまま飲用しない
長期間のご使用によって貯湯ユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、沸騰させてからにしてください。
 - ・ 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
 - ・ 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せず、直ちに点検の依頼を行ってください。



必ず守る

- 長期間使わないときは、貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水を抜く（P.25）
（水質変化により、飲用すると健康を害するおそれがあります）

点検・異常時



禁止

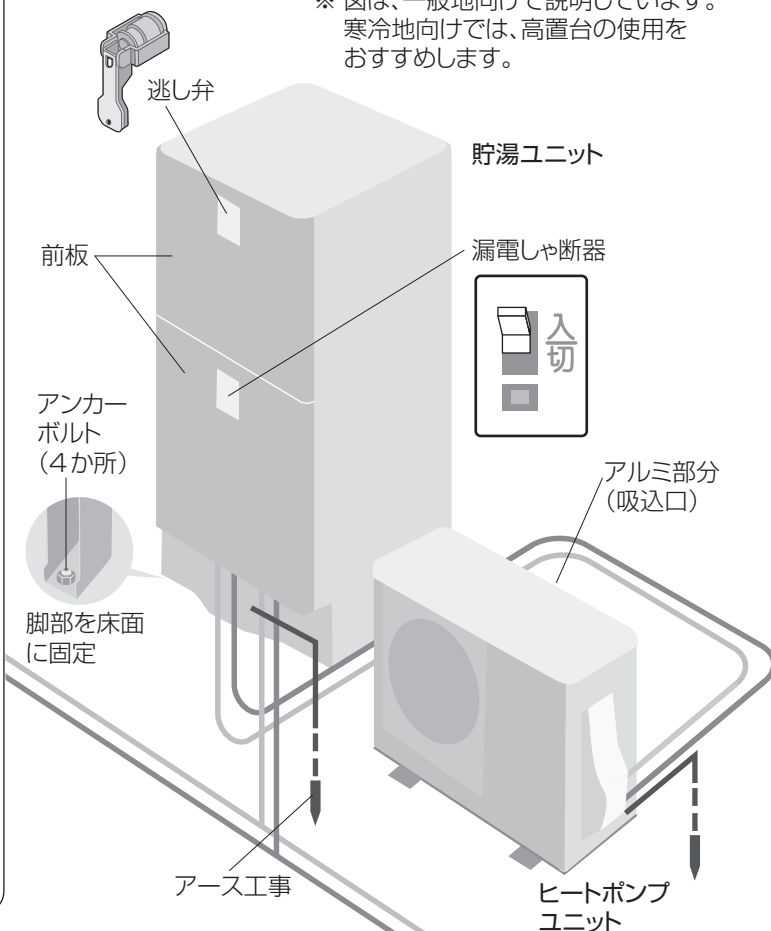
- 貯湯ユニットの水抜き時は、熱湯を直接排水しない
（やけどや排水配管の破損の原因になります）
給湯栓よりお湯を出しきってから排水してください。（P.25）



必ず守る

- お手入れ時や点検時は、次のことをする
 - ・ 漏電しゃ断器を「切」にする。
（ヒートポンプユニットのファンが高速回転しているため、けがの原因になります）
 - ・ お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のふたを閉じる。
（雨やごみが入ると、漏電や感電の原因になります）
 - ・ 逃し弁が作動することを定期的に確認する。
（P.23）（逃し弁が正しく作動しないと、水漏れの原因になります）
 作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

※ 図は、一般地向けで説明しています。
寒冷地向けでは、高置台の使用をおすすめします。



使用上のお願い

■ ご使用の前にご確認ください

電力料金契約について

- この給湯機は申請によって、各電力会社の電気料金メニューによる料金割引が適用される場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店またはご契約の電力会社にご確認ください。

沸き上げ中はヒートポンプの運転音がします

- ご近所の迷惑にならない場所に据え付けられているかご確認ください。

タンクを満水にして空気抜きをし、水を沸き上げる必要があります

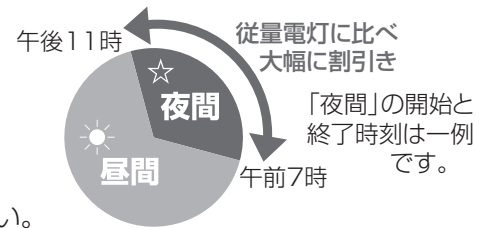
- お買い上げの販売店(工事店)が実施していることをご確認ください。
- 実施されていない場合は「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.26)に従って準備してください。

リモコンに「試運転ナビ」が表示されるときは…

- お買い上げの販売店にご連絡ください。(試運転が未完了です)

試運転後その日からお湯を使われるときは…

- お買い上げの販売店(工事店)が沸き増しを実施したことをご確認ください。実施されていない場合は、沸き増しをしてください。(P.11)(沸き増しされていないと、タンクの水が全量沸き上がるのは翌朝になります)
- 給湯温度の設定を確認して、好みの温度に設定してください。(P.10)



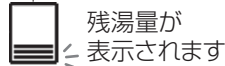
湯切れすることがあります！

お湯の使用量が多いと、お湯がなくなることがあります。残湯量表示を確認しながらお使いください。



湯切れを防ぐには

- シャワーはこまめに止める。
- 多くのお湯を使うとき、不足しそうなときは「沸き増し」しておく。(P.11)
- 沸き上げモードを「おまかせ」にする。(P.12)



混合水栓は

給湯温度を低めに調節してからお使いください。

寒さがきびしいときは

給水・給湯配管の凍結を予防するため、リモコンの給湯温度を「水」にして、1 分間に 200 ml 程度の水が出るようにお湯側の蛇口を開けてください。(P.28)

浴そうなどが青くなるのは

使用地域の水質や、給湯機の銅配管により薄青くなることがありますが、水中に溶け出たわずかな銅イオンと、石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応したもので、人体に害はありません。

参考：(社)日本銅センター発行「銅と衛生」

浴そうやタイルは

- 市販の浴室用洗剤「ウルトラハー ドクリーナーバス用」や「湯アカ 分解」(いずれも(株)リンレイ製※) などを使ってこまめに掃除する。

※ 詳しくは(株)リンレイのWEBサイトをご覧ください。

- 強くこすると浴そうを傷つけ、傷の中に青い色が入り込み、落ちにくくなる場合があります。
- ペーパータオルに原液を浸し、青い部分に貼り付けて、しばらく(数分～数十分)放置した後、ふき取ると効果的です。



タオルは

- 70℃～80℃のお湯に、1 割くらいの食酢を混ぜて浸しておく。



- 繰り返し行っていると、タオルが黄色味を帯びてくる場合があります。そのときは繊維の表示に従い、漂白剤などをご使用ください。

各部の名前と働き

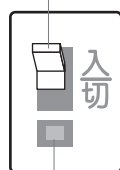
ヒートポンプユニット・貯湯ユニット

使用上のお願い／各部の名前と働き(ヒートポンプユニット・貯湯ユニット)

■ 貯湯ユニット

逃し弁
ふたはネジを
ゆるめて開けます。

漏電しゃ断器
(電源スイッチ)
ふたはネジをゆる
めて開けます。



テストボタン

この部分に、安全上
の注意が表示されて
います。

ネームプレート
品番と製造年を記載

- 配管の接続口などを隠したいとき
脚部化粧カバー(別売品)を取り付
けることができます。(P.35)

■ ヒートポンプユニット

吸込口(側面・背面)

この部分に、安全上
の注意が表示されて
います。

ネームプレート
品番と製造年を記載

この部分に、安全上
の注意が表示されて
います。

水抜き栓
(3か所)

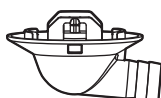
アース端子

カバー

吹出口

ドレン口
(底面)

ドレンエルボ
(一般地向けのみ付属)
ドレン口に接続し、
ドレン水を排水する
とき使用します。



水抜き栓(3か所)

水抜き栓(屋内用のみ)

ストレーナー(フィルター)

給水配管接続口

給湯配管接続口

排水栓

排水口

アース端子

漏水センサーホース
(屋内用のみ)

ヒートポンプユニット配管

・接続口B(湯側)

・接続口A(水側)

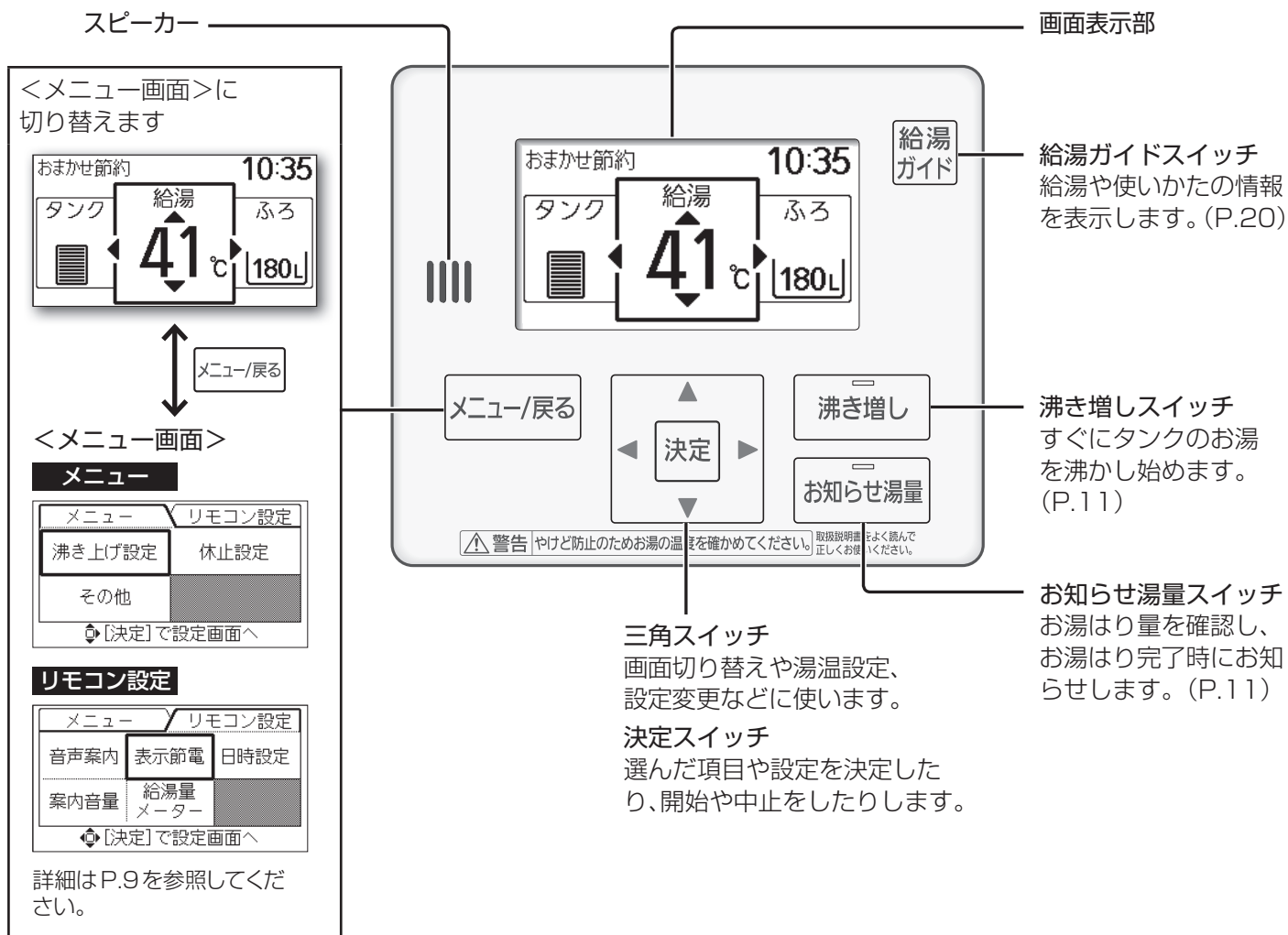
非常用取水栓(灰色)

- 図は説明のため、配管や
ホースを省略しています。

各部の名前と働き

リモコン

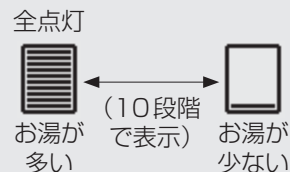
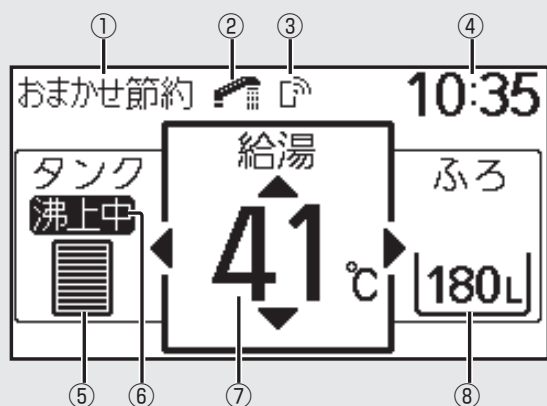
スイッチ操作の後に、操作手順や注意、確認などを音声でご案内します。



画面表示部

(説明のため、すべての内容を表示しています)

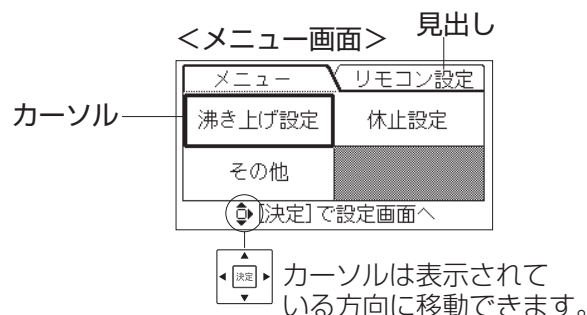
リモコンやお湯を使い始めてから約1分間、バックライトが点灯します。(P.17)



基本の操作方法

メニュー/戻るを押すと、＜メニュー画面＞に切り替わり、詳細の設定ができます

▲▼◀▶ でカーソルを移動し **決定** を押します。(カーソルは見出しへ移動することもできます)



- カーソルが見出しにあるとき、◀▶を押すと画面が切り替わります。(メニュー↔リモコン設定)
- メニュー/戻る**を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
- 一定時間、スイッチ操作がないと、通常の表示に戻ります。

メニュー画面項目一覧表

リモコンのメニュー画面の項目を一覧にしました。

メニュー

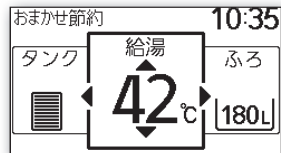
項目		こんなときに使います	設定方法
休止設定		長期間沸き上げを休止したいとき	P.24
沸き上げ設定	沸き上げモード	「おまかせ」に変更したいとき	P.12
	ダブルピークカット設定	電気使用量の多い時間帯に沸き上げを停止したいとき	P.13
	ピークセーブ設定	電力消費のピークを下げて沸き上げをしたいとき	P.14
	ピークシフト設定	朝方の消費電力量を抑えるため、夜間時間帯になるとすぐに沸き上げる設定にしたいとき	P.14
	ソーラーチャージ設定	太陽光発電で発生した電気を利用して昼間に沸き上げをしたいとき	P.15
その他	シンプル画面設定	メニュー画面によく使用する機能のみを表示させたいとき	P.20
	サービス店 TEL 表示	サービス店の電話番号を確認するとき	P.33
	コントラスト調整	リモコン画面のコントラスト(表示濃淡)を調整したいとき	P.17
	空気抜き	タンクのお湯を抜いた後、初めての沸き上げ前に	P.26
	OK モニター	異常表示を確認するとき	P.33
	電力制度設定	電力契約の時間設定を設定するとき	P.18
	HEMS 設定	HEMS アダプターと接続するとき	P.17
リモコン設定	音声案内	音声案内の設定を変えたいとき	P.16
	表示節電	リモコン画面表示部のバックライトが消灯する設定を変えたいとき	P.17
	日時設定	時刻表示を合わせたいとき	P.16
	案内音量	案内の音量を変えたいとき	P.16
	給湯量メーター	給湯量メーターを表示させたくないとき	P.16

お湯を使う(給湯)

混合水栓やシャワーなど、お湯を使うための基本操作です。

給湯温度を設定する

1 ▲▼で湯温を選ぶ



■ 給湯温度の設定について

水、32、35、38 ~ 47、50、55、60℃に変えられます。
▲を押し続けると、45℃でいったん止まり、さらに押し
と46、47、50、55、60℃に変わります。

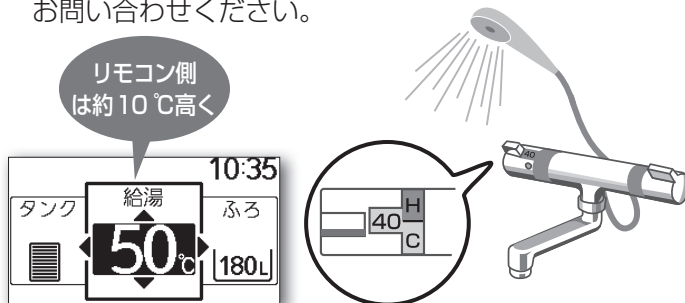
■ お湯がぬるく感じる時

(サーモスタットタイプの混合水栓)

お湯がぬるく感じる時は、リモコンの設定温度を変更
してください。

たとえば混合水栓側を40℃に設定されるときは、リモ
コン側の湯温設定を約10℃高い50℃にしてください。

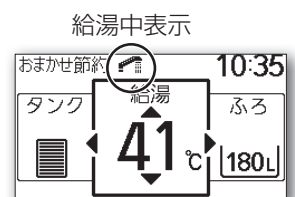
- リモコン側の湯温設定を高くしてもお湯がぬるい
ときは、混合水栓のメーカーに
お問い合わせください。



■ 「給湯中表示」について

お湯を出しているときは、「給湯中表示」が出ます。

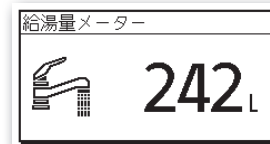
- 少ししかお湯を出していない
ときは水になり、
「給湯中表示」は出ません。



■ 給湯量メーターについて

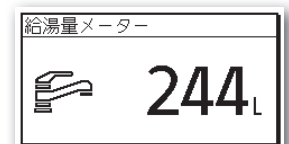
お湯を使うと…

本日、使用した湯量を
表示します。(約5秒間)



お湯を止めると…

使用後の湯量を表示し
ます。(約5秒間)



- 湯量は、42℃でお湯を使った場合の目安です。
(タンク容量以上の数値になる場合があります)
- 混合水栓の水側から出た水量は含みません。
- 給湯量メーターは0時00分から23時59分までに
使用した数値です。(0時00分に0Lになります)
- 給湯量メーターを表示しないようにできます。
(P.16)

お知らせ

- 給湯温度の表示は目安です。
- 冬季など気温が低い場合、配管の放熱により、設定温度にならないことがあります。(お湯の設定温度を高めにしてください)
- 断水中は、お湯が使えません。(水道水の圧力を利用して給湯しているため)
- シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したときは、水になることがあります。
- 沸き上げ中は、湯温が変動することがあります。
- お湯の温度は季節によって感じ方が異なります。お湯がぬるく感じる時は、リモコンの設定温度を変更してください。
- 給湯開始時、一時的にぬるくなる場合があります。
- タンク内の湯温が低いときは設定温度にならないことがあります。

お湯をはる

浴そうに栓をしてください。

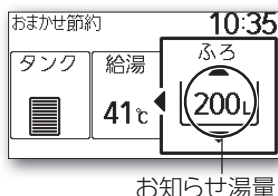
沸き増しする

急な来客などで、ふだん以上にお湯を使うようなときは、手動でタンクのお湯を沸き増しできます。すぐには沸き上がらないため、早めに沸き増しすることをおすすめします。

お湯をはる



- 1 浴そうを空にして栓とふたをする
- 2 お知らせ湯量を変えたいときは、▶で「ふる」を選び▲▼でお知らせ湯量を設定する



- 設定範囲：
40 L～500 L (10 L刻み)

- 3 お知らせ湯量を押す

- ▲▼でお知らせ湯量を変更することもできます。



- 4 お湯をはる

- 0 Lになると点滅表示します。
- お湯を止めるまで「お湯を止めてください」の音声案内を繰り返します。(音声案内は3分間で止まります)



- 5 お湯を止める

♪ お湯はりが終わりました、お湯を止めてください

沸き増しする

- 1 沸き増しを押す

- ランプが点灯します。(赤)

- 2 沸き増し湯量を変更するときは、▲▼で湯量を選び、決定を押す



- 決定 が押されない場合は、前回の設定湯量で沸き増しをします。
- 設定範囲：
100 L、200 L、300 L、400 L、500 L、全量 (お買い上げ時の設定は「500 L」)
- 沸き増し湯量は42℃でお湯を使うときの目安です。お湯の使用量の目安(下記)を参考に設定してください。

100 L沸き増しするのに約1時間かかります (条件により時間が長くなる場合があります)

- 100 L～500 L設定時は、設定湯量沸き増し後、自動解除します。条件により設定した湯量まで沸き増しせず、自動解除することがあります。(P.31)
- 「全量」設定時は、24 時間後、自動解除します。条件によりタンクいっぱいまで沸かさず、沸き上げ停止することがあります。(P.31)

中止するとき

もう一度 沸き増しを押す(ランプ消灯)

お湯を使う(給湯) / お湯をはる / 沸き増しする

お知らせ

- お湯はり完了前後、残湯量が少なくなった場合や湯温が低くなった場合、「沸上中」が表示し、沸き上げる場合があります。
- お知らせ湯量には混合水栓の水側から出る水量は含まれません。お湯と水を混ぜて、お湯はりする場合は「お知らせ湯量」に水側から出る水量が足されてお湯はりされます。
- お湯はり中に他でお湯を使用すると、浴そうへのお湯の出が弱くなり、浴そうの湯量がお知らせ湯量より少なくなる場合があります。
- 断水中は、お湯はりできません。(水道水の圧力を利用して給湯しているため)

■ お湯の使用量の目安

洗面と台所	家族1人当たり/ 約20 L～30 L	
シャワー	1回当たり/ 約50 L～80 L	
お湯はり	1回当たり/約180 L (浴そうの大きさや使いかたによって変わります。)	

沸き上げモード を変える

タンクのお湯の沸かし方には「おまかせ節約」と「おまかせ」の2つのモードがあります。
まずは「おまかせ節約」でお使いください。(P.2)

沸き上げ設定

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「沸き上げ設定」
を選び **決定** を押す
- 2 **▲▼**で「沸き上げモード」を
選び **決定** を押す
- 3 **▲▼**で「おまかせ節約」
または「おまかせ」を選び
決定 を押す

● お買い上げ時の設定は、
「おまかせ節約」です。

● ご使用開始後7日間は、
右の表示が出ます。
(「おまかせ節約」のみ)

ただ今学習中です。
湯切れするときは
変更をお願いします。



◆おまかせ節約

省エネ推奨モード

実際に使ったお湯の量を学習し、
“我が家”に合わせた最適なお湯
の量を、自動で沸かしします。



◆おまかせ

「おまかせ節約」では お湯が足りない場合

実際に使ったお湯の量を学習し、
「おまかせ節約」より多めに、最適
なお湯の量を自動で沸かしします。

- お湯が足りないと予測したときは、昼間も自動で沸き上げを行います。
- 夏場など、お湯の使用量が少ないとき、タンクいっぱいまで沸かさないことがあります。

昼間の沸き上げ を停止する

その日はもうお湯を使わないとき、ご契約の電力制度の夜間時間帯までの沸き上げを停止できます。

- 当日のみの設定です。
- 夜間時間帯になると自動解除します。

昼停止設定(当日のみ)

- 1 **◀**で「タンク」を選ぶ
- 2 **▲**で「昼停止」を「入」にする

● 昼間時間帯の沸き上げ
が停止されます。

● **決定** を押すと元の
表示に戻ります。
「昼停止」を確認してく
ださい。

本日、夜間時間帯までの沸き
上げを停止します。湯切れ
しそうなときは、前もって
「沸き増し」をおすすめします。

「昼停止」を取り消すとき

手順2で、▼を押し「昼停止」を「切」にする

- ピークカット中に「昼停止」すると、表示は
「ピークカット」→「昼停止」に変わります。(P.13)
- 昼間時間帯の沸き上げ停止中
でも、沸き増しはできます。
(P.11)
沸き増しすると、「昼停止」は
取り消されます。
- ソーラーチャージ設定中に
「昼停止」すると、ソーラー
チャージ設定時間には沸き上
げを行います。(P.15)

昼停止設定を
取り消しました。

本日、夜間時間帯までの
沸き上げを停止します。
ソーラーチャージ設定時間は
沸き上げます。

- 次のときは「昼停止」の設定ができません。
 - 沸き増しスイッチで沸き増し中
 - ご契約の電力制度の夜間時間帯
 - 沸き上げ休止中(P.24)

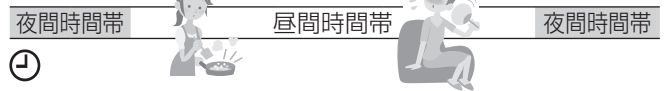
ダブルピークカット設定する

電気使用量の多い時間帯には、毎日の沸き上げを行わないようにする設定です。午前4時から契約プランの夜間時間帯が始まるまでの間で2つの時間帯を設定できます。起床してから家族が出かけるまでの時間帯、夏の午後の冷房の消費電力量が大きい時間帯などに沸き上げを行わないことで、電気使用量のピークを下げるすることができます。

ダブルピークカット*設定可能時間帯
(午前4時から夜間時間帯開始まで)

ピークカット①
沸き上げを停止

ピークカット②
沸き上げを停止

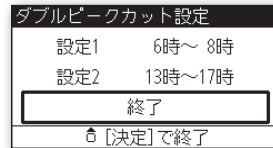


※ダブルピークカットとは、ピークカットを2つ設定することです。

ダブルピークカット設定

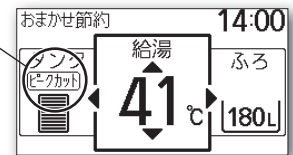
- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「ダブルピークカット設定」を選び **決定** を押す
- 3 1つめ、または2つめを設定できます。
< 1つめの時間帯を設定する場合 >
▲▼で「設定1」を選び **決定** で進める
●お買い上げ時の設定
設定1：なし
設定2：なし
- 4 ▲▼◀▶で開始時刻と終了時刻を合わせ **決定** で進める
●1時間単位で設定できます。
▼▲を押し続けると早送ります。
●設定可能時間帯：
午前4時から夜間時間帯が始まるまで
- 5 < 2つめの時間帯を設定する場合 >
▲▼で「設定2」を選び **決定** で進める
●手順4と同様に時刻を設定します。
●2つめの時間帯を設定しないときは、「終了」を選びます。

- 6 ▲▼で「終了」を選び **決定** を押す



ピークカット機能を設定しました。湯切れしそうなときは、前もって「沸き増し」をおすすめします。

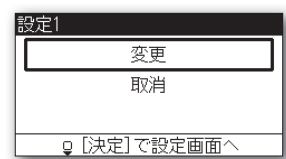
- 設定時刻になると「ピークカット」が表示されます。「昼停止」と同時に設定すると「昼停止」が表示されます)



ピークカット設定の変更

(「設定1」を変更する場合)

- 手順3の後、
▲▼で「変更」を選び **決定** を押す。



- ▲▼◀▶で開始時刻と終了時刻を合わせ **決定** で進める。



ピークカット設定の取り消し

(「設定1」を取り消す場合)

- 手順3の後、
▲▼で「取消」を選び **決定** で進める



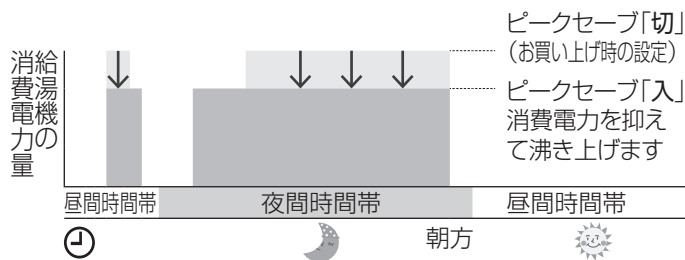
お知らせ

- 設定1と設定2はそれぞれ独立して設定できます。時間帯が重なっている場合、連続している場合も有効です。
- 「ピークカット」を設定した時間帯でも **沸き増し** を押すと、沸き増しできます。(P.11)
- 沸き増しが終了すると、「ピークカット」に戻ります。
- ピークカット設定した時間帯には自動での沸き上げを行いません(毎日)。お湯の使い方によっては、湯切れする場合があります。残湯量を確認しながら、早めに沸き増しを行ってください。
- ソーラーチャージ設定中に「ピークカット」しても、「ソーラーチャージ」が優先され、沸き上げを行います。(P.15)

沸き上げモードを変える／昼間の沸き上げを停止する／ダブルピークカット設定する

ピークセーブする

電気使用量のピークを下げ、少ない電力で時間をかけて沸き上げます。



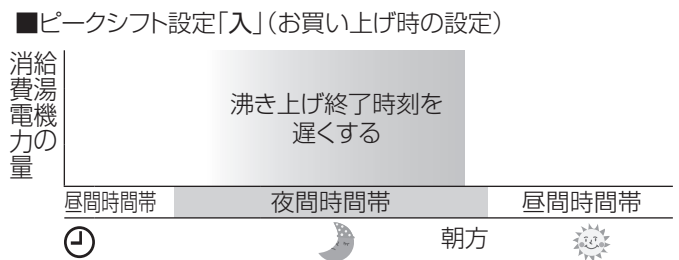
ピークセーブ設定

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニューの「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す
- 2 **▲▼**で「ピークセーブ設定」を選び **決定** を押す
- 3 **▲▼**で設定を選び **決定** を押す
入：ピークセーブが働きます
切：ピークセーブは働きません（お買い上げ時の設定）

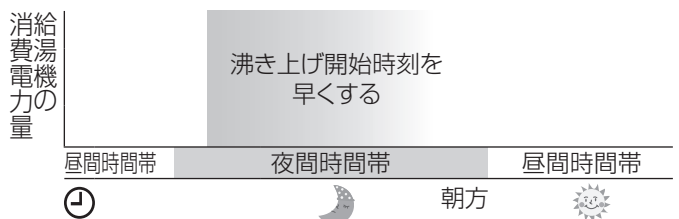
- タンク内のお湯が少ない場合など、条件によっては夜間時間帯に、お湯がタンクいっぱいには沸き上がらない場合があります。
- ピークセーブ設定すると、少ない電力で沸かすため、沸き上がりに時間がかかります。昼間時間帯の沸き上げも少ない電力で行います。湯切れする場合は、早めに沸き増しを行ってください。
- 昼間沸き上げ停止中や、ピークカットで設定した時間帯は沸き上げを行いません。

夜間沸き上げ時間をずらす

朝方の電気使用量が多い時間帯を避けるため、夜間時間帯の沸き上げ開始時刻をずらすことができます。



ピークシフト設定「入」(お買い上げ時の設定)

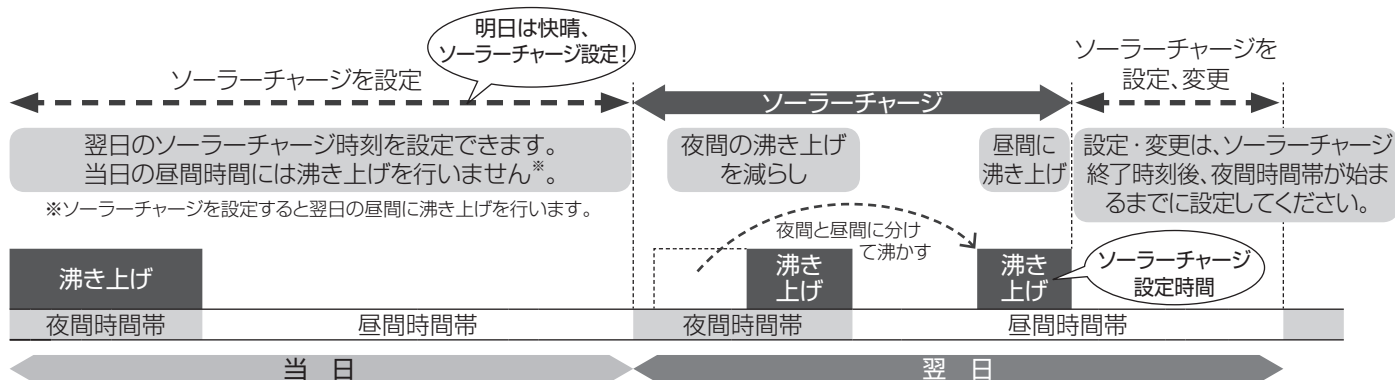


ピークシフト設定

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニューの「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す
- 2 **▲▼**で「ピークシフト設定」を選び **決定** を押す
- 3 **▲▼**で設定を選び **決定** を押す
入：沸き上げ終了時刻を遅くする（お買い上げ時の設定）
切：沸き上げ開始時刻を早くする

ソーラーチャージ設定をする (太陽光発電システムを設置している場合)

太陽光発電システムで発電した電気を、昼間の沸き上げに利用したいときに設定します。(その分、夜間の沸き上げを減らします)ソーラーチャージを設定すると、翌日の昼間に沸かします。



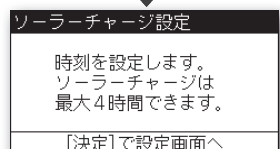
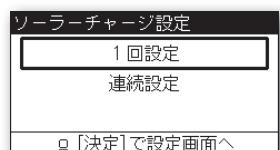
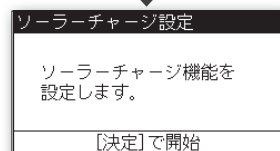
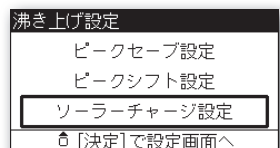
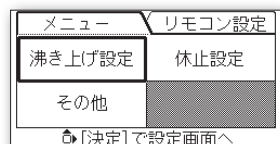
ソーラーチャージ設定

1 **メニュー/戻る** を押す
メニューの「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す

2 ▲▼で「ソーラーチャージ設定」を選び **決定** で進める

3 ▲▼で設定を選び **決定** で進める

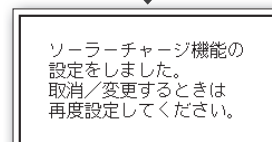
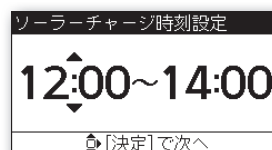
- 1 回設定：
翌日のみ沸き上げを行います。
- 連続設定：
連続して毎日沸き上げを行います。



4 ▲▼▶で開始時刻と終了時刻を合わせ

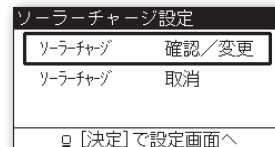
決定 で進める

- 時刻は9時～17時の間、1時間単位で最大4時間まで設定できます。
- ▲▼を押し続けると早送りできます。



ソーラーチャージ設定の確認/変更、取り消し

手順2の後、▲▼で「ソーラーチャージ 確認/変更」または「ソーラーチャージ 取消」を選び、**決定** を押す



- 急な天候変化で沸き上げを取り消したい場合は、ソーラーチャージ設定を取り消し、湯切れしないように早めに沸き増ししてください。(P.11)
- 夜間時間帯開始からソーラーチャージ設定時間開始までに変更する場合、開始時刻が現在時刻よりも前だと、その日の昼間は沸き上げを行いません。
- ソーラーチャージ設定時間中の変更はできません。ソーラーチャージ終了後に、変更してください。
- ソーラーチャージ中に、翌日分のソーラーチャージ設定時間を設定・変更したい場合、いったん取り消してから再度、設定・変更をしてください。ただし、当日の昼間に沸き上げなくなるため、湯切れしないように早めに沸き増ししてください。(P.11)

お知らせ

- 太陽光発電システムの発電量が、ヒートポンプ給湯機の沸き上げ消費電力(P.34, 35)を上回ることが必要です。発電量を確認のうえ、設定してください。天候が悪い場合や他の家電製品を使う場合は、太陽光発電システムの発電量だけではまかなえず、高い電気料金を使うことがあります。(「連続設定」は、特にご注意ください)
- ソーラーチャージを取り消すと、湯切れする場合があります。湯切れしないように、早めに沸き増ししてください。(P.11)
- 太陽光発電システムを設置していないご家庭で設定すると、電気料金が増えます。
- 「1 回設定」の場合、停電が発生すると設定は取り消されます。
- 「ピークカット」や「昼停止」の設定中にソーラーチャージを設定すると、ソーラーチャージが優先され、自動で沸き上げます。(タンクのお湯を確保するため)ソーラーチャージ設定時間以外は、ピークカット機能や昼停止機能が働きます。

ソーラーチャージ機能を優先して沸き上げを行います



ピークセーブする／夜間沸き上げ時間をずらす／ソーラーチャージ設定をする

設定を変える

日時設定

時刻表示がずれているときは合わせてください。
(思わぬ電気料金がかかることがあります)

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「日時設定」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「年」を合わせて
決定 で進める
同様に「月」「日」も合わせる
- 3 ▲▼で「時」を合わせて
決定 を押す
●夜の12時は「0:00」です。
▲または▼を押し続けると早送りできます。
- 4 ▲▼で「分」を合わせて
決定 を押す
●▲または▼を押し続けると早送りできます。

- 正しく日時を合わせても大幅にずれる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

給湯量メーター

給湯量メーターを表示させない設定に変えられます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「給湯量メーター」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で設定を選び
決定 を押す
●入：給湯栓の開閉時に、当日の使用湯量を表示します。
(お買い上げ時の設定)
●切：表示しません。

音声案内

音声案内の設定を変えられます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「音声案内」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で設定を選び
決定 を押す
●音声とメロディー：音声とメロディーで案内します。
(お買い上げ時の設定)
●メロディー：メロディーのみで案内します。
●切：音声案内しません。

案内音量

案内の音量を変えることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「案内音量」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で設定を選び
決定 を押す
●4段階に音量が変更されます。
●お買い上げ時の設定は「2」です。

表示節電

リモコンやお湯を使っていないときに、画面表示部のバックライトが消灯します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「表示節電」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で設定を選び **決定** を押す
 - ・10秒後消灯
 - ・1分後消灯 (お買い上げ時の設定)
 - ・5分後消灯
 - ・15分後消灯
 - ・30分後消灯
 - ・常時点灯
 - ・常時消灯
 - 設定した時間が過ぎると画面表示部のバックライトが消灯します。

- 常時消灯時でも、50℃以上で給湯する場合は、安全のためバックライトが点灯します。
- 画面表示部で「タンク」「ふろ」の画面を選んでいるときは、バックライトの自動消灯はしません。

リモコンのコントラストを調整する

リモコンの画面表示が見にくい場合、コントラスト(濃淡)を調整できます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「コントラスト調整」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び **決定** を押す
 - 5段階に調整できます。
 - お買い上げ時の設定は「3」です。

設定を変える

HEMS 設定

HEMS アダプターと接続する場合は「入」、接続しない場合は「切」を選んでください。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「HEMS 設定」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び **決定** を押す
 - ・入
 - ・切 (お買い上げ時の設定)
 - HEMS の登録と接続がされているとき、「入」で  が表示されます。

電力契約の設定をする

ご使用の電力契約に対応した夜間時間帯に設定することができます。

「夜間時間設定」で設定してください。（「電力会社設定」「直接入力設定」でも設定できます）

ご契約の夜間時間帯は、正しく設定してください。設定が合っていないと思われ電気代がかかる場合があります。8時間未満の設定をすると、夜間にタンクいっぱいにお湯が沸き上がらない場合があります。

使用状況によっては、タンクのお湯が不足する場合があります。

夜間時間を選んで設定する

電力契約①(右記)のプランを確認し、設定1～7のうちから夜間時間帯を選びます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニューの「その他」を選び **決定** を押す
- 2 **▲▼**で「電力制度設定」を選び **決定** を押す
- 3 **▲▼**で「夜間時間設定」を選び **決定** を押す
- 4 **▲▼**で設定を選び **決定** を押す
 - 設定1：23時～7時
 - 設定2：21時～9時
 - 設定3：1時～6時
 - 設定4：22時～8時
 - 設定5：23時～9時
 - 設定6：21時～7時
 - 設定7：20時～8時

●あてはまる夜間時間の設定がない場合は、直接入力で設定できます。（P.19）

■ 電力契約①(2018年4月現在)

●主な電力会社の契約プランです。詳しくはご契約の電力会社へお問い合わせいただき、正しく設定してください。

電力会社	契約プラン	夜間時間帯	設定
北海道電力	eタイム3プラス	22:00～8:00	設定4
東北電力	よりそう+シーズン&タイム	22:00～8:00	設定4
	よりそう+ナイト12	21:00～9:00	設定2
	よりそう+ナイト&ホリデー	22:00～8:00	設定4
	よりそう+ナイト8	23:00～7:00	設定1
	よりそう+ナイト10	22:00～8:00	設定4
	よりそう+ナイトS	22:00～8:00	設定4
	よりそう+サマーセーブ	23:00～7:00	設定1
東京電力 エナジー パートナー	夜トクプラン(夜トク8)	23:00～7:00	設定1
	夜トクプラン(夜トク12)	21:00～9:00	設定2
	スマートライフL	1:00～6:00	設定3
中部電力	スマートライフプラン	22:00～8:00	設定4
	スマートライフプラン(朝とく)	23:00～9:00	設定5
	スマートライフプラン(夜とく)	21:00～7:00	設定6
北陸電力	くつろぎナイト12	20:00～8:00	設定7
関西電力	eスマート10	22:00～8:00	設定4
中国電力	電化Styleコース	21:00～9:00	設定2
四国電力	スマートeプラン[タイプL+]	23:00～9:00	設定5
	スマートeプラン[タイプH+]	23:00～9:00	設定5
九州電力	電化でナイト・セレクト21	21:00～7:00	設定6
	電化でナイト・セレクト22	22:00～8:00	設定4
	電化でナイト・セレクト23	23:00～9:00	設定5
沖縄電力	Eeホームホリデー	23:00～7:00	設定1
	Eeホームフラット	23:00～7:00	設定1

お知らせ

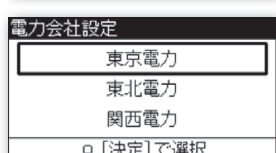
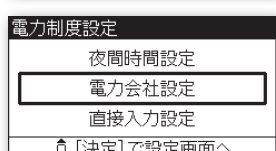
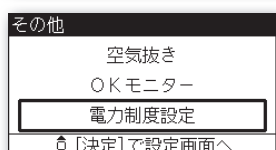
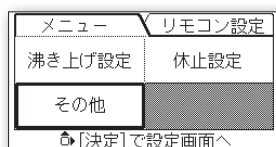
●電力会社や電力契約を変更したときなど、夜間時間帯を再設定した場合は、ピークカット機能の設定が取り消されます。必要に応じて再度設定してください。（P.13）

設定を受け付けました。
ピークカット機能を取り消しましたので、再度設定をお願いします。

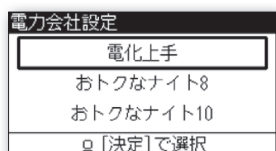
契約プランを選んで設定する

買い替えなどで、従来の電力契約を継続できる場合は、「電力会社設定」から設定できます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「電力制度設定」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で「電力会社設定」を選び **決定** を押す
- 4 ▲▼でご契約の電力会社を選び **決定** を押す
●電力契約②(右記)で、ご契約のプランを確認してください。
- 5 ▲▼で契約プランを選び **決定** を押す



※機種により、表示が異なります。



■ 電力契約②(2016年3月31日以前)

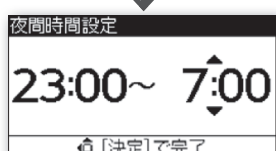
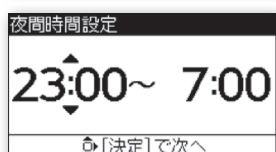
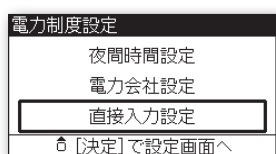
電力会社	契約プラン	夜間時間帯
北海道電力	ドリーム8エコ 22	22:00～6:00
	ドリーム8エコ 23	23:00～7:00
	ドリーム8エコ 00	0:00～8:00
	ドリーム8 22	22:00～6:00
	ドリーム8 23	23:00～7:00
	ドリーム8 00	0:00～8:00
東北電力	eタイム3	22:00～8:00
	やりくりナイト8	23:00～7:00
	やりくりナイト10	22:00～8:00
東京電力	やりくりナイトS	22:00～8:00
	電化上手	23:00～7:00
	おトクなナイト8	23:00～7:00
中部電力	おトクなナイト10	22:00～8:00
	Eライフプラン	23:00～7:00
北陸電力	タイムプラン	23:00～7:00
	エルフナイト10	22:00～8:00
	エルフナイト10プラス	22:00～8:00
関西電力	エルフナイト8	23:00～7:00
	はぴeタイム	23:00～7:00
中国電力	時間帯別	23:00～7:00
	ファミリータイム	23:00～8:00
四国電力	エコノミーナイト	23:00～8:00
	スマートeプランタイプL	23:00～7:00
	スマートeプランタイプH	23:00～7:00
	得トクナイト	23:00～7:00
九州電力	電化Deナイト	23:00～7:00
	電化deナイト	22:00～8:00
	時間帯別	22:00～8:00
沖縄電力	よかナイト10	22:00～8:00
	Eeらいふ	23:00～7:00
	時間帯別	23:00～7:00

2016年4月1日以降でも、上記の契約プランを選択できる場合があります。詳しくは、電力会社様へお問い合わせください。

夜間時間帯の時刻を合わせて設定する

時刻を直接合わせて設定します。(直接入力設定)

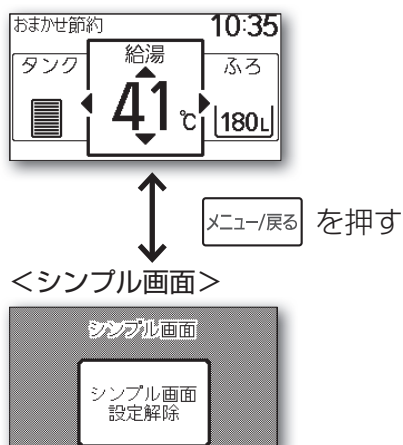
- 3 上記手順3で「直接入力設定」を選び **決定** で進める
- 4 ▲▼◀▶で夜間時間帯の開始時刻と終了時刻を合わせ **決定** で進める
●1時間単位で設定できます。
▼▲を押し続けると早送りできます。



シンプル画面を設定する

シンプル画面設定

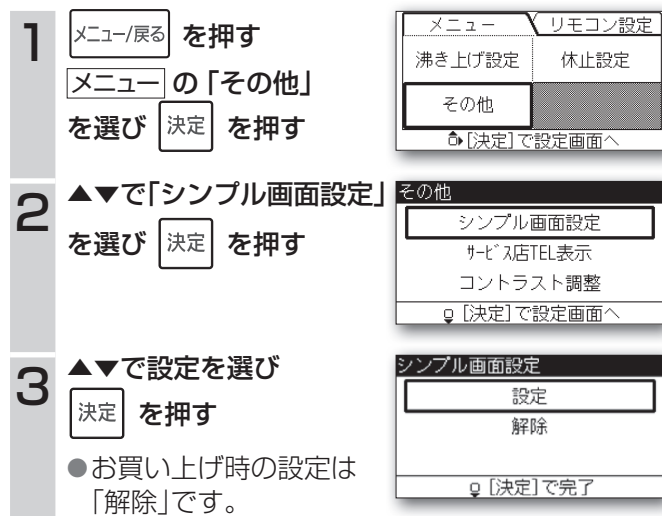
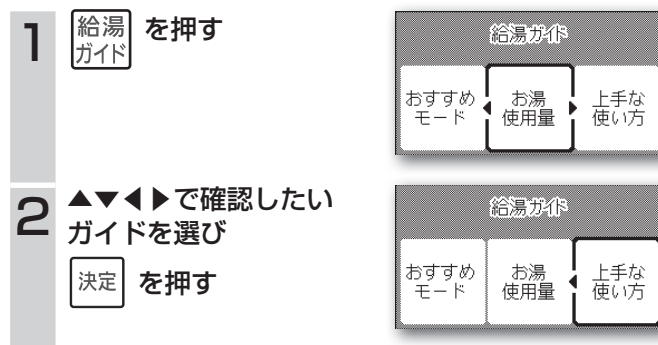
リモコンの「メニュー画面」が「シンプル画面」に変わり、詳細の設定ができなくなります。



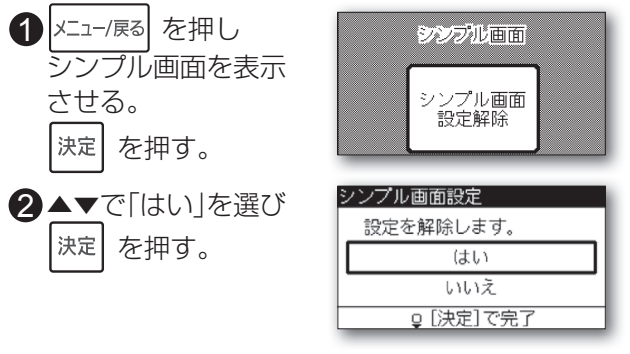
「給湯ガイド」を見る

給湯についての便利な情報や、使いかたのアドバイスなどを表示します。

給湯ガイドを見る



シンプル画面の取り消し



おすすめ
モード

日常のお湯の使用量を学習して、“我が家”に合った最適な沸き上げモードを表示します。

表示例	
	● ガイドに従って沸き上げモードを設定できます。(P.12)

- 使用開始から7日間は、「現在、学習中です…」と表示が出ます。学習が完了するまで、そのままお使いください。湯切れしそうな場合は、早めに沸き増しをしてお使いください。(P.11)

お湯
使用量

使える湯量や使った湯量の目安を表示します。



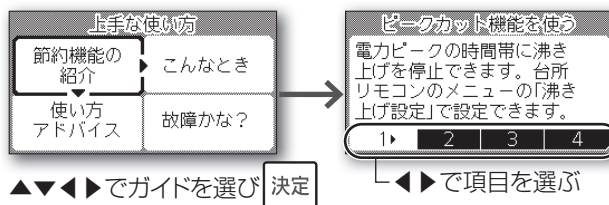
◀▶で項目を選ぶ

項目	
使用可能湯量	● 表示される数値は目安です。
本日の使用湯量	● 混合水栓の「水側」やお湯側でも湯温を「水」で使用した分は使用湯量に含まれません。
前日の使用湯量	● 使用湯量は、0時00分から23時59分までの数値です。(0時00分に0Lになります)
1週間の使用湯量	● 1週間の使用パターンが表示されます。
平均使用湯量	● 1日あたりの平均使用湯量が表示されます。

- お湯の使用量は42℃に換算した湯量で表示します。このため、表示がタンクの容量を超える場合があります。

上手な
使い方

節約機能の紹介やお手入れの方法など、よくあるお問い合わせの内容をリモコンで見ることができます。



▲▼◀▶で ガイドを選び	▶▶で項目を選ぶ		参照ページ	◀▶で項目を選ぶ	参照ページ
節約機能 の紹介	1	ピークカット機能を使う	P.13	3	給湯の温度を変える
	2	昼間の沸き上げを停止する	P.12	4	早めにリモコンを消灯する
使い方 アドバイス	1	浴そうやタイルが青くなった	P.6	3	昼間の沸き上げを停止する
	2	お湯の温度が低い	P.10		
こんなとき	1	断水したとき①	P.27	4	停電のとき
	2	断水したとき②	P.27	5	凍結のおそれがあるとき
	3	一定期間使わないとき	P.24	6	H表示、F表示が出たとき※ ¹
故障かな?	1	タンクや室外機から水が出る※ ²	P.23	4	お湯を出したいのに水が出る
	2	昼間に沸き上げる	P.12	5	使用湯量表示が実際と異なる
	3	水圧が低い	P.10		

※¹ 電話番号を登録している場合表示します。

※² ヒートポンプユニット(P.7)を「室外機」と表示します。

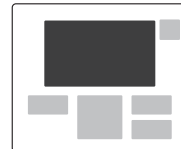
お手入れする

日常のお手入れ

リモコン

からぶきまたは水ぶきする

- ひどい汚れは台所用(中性)洗剤を薄めて布に含ませ、ふいてください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は使わないでください。(変形・変色の原因となります)
- 直接、水をかけないでください。



年に2～3回 タンク(貯湯ユニット内)をお手入れ

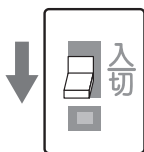
■脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合

前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.35)

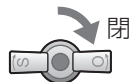
排水して、底の湯あかを押し流す

- 残湯量の表示目盛りが1つ以上減っているときに行ってください。(リモコン表示 )
目盛りが少ないとき、比較的低温のお湯が排水されます。
(表示目盛りが全点灯のときは高温のお湯が出る場合があるため排水しないでください)

1 漏電しゃ断器を「切」にする



2 給水元栓*を閉じる

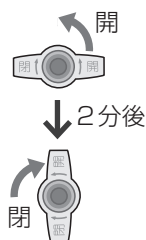


3 逃し弁レバーを上げる



4 排水栓を開き、約2分間排水後、閉じる

- 熱いお湯が出ることがあります。
- 排水中は逃し弁レバーを下げないでください。



警告



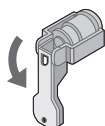
排水口や排水配管から
出るお湯に触れない
(やけどの原因になります)

5 給水元栓*を開けて、タンクを満水にする

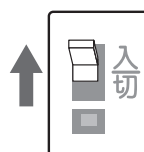
- 排水配管から水が出始めたら満水です。



6 逃し弁レバーを下げる

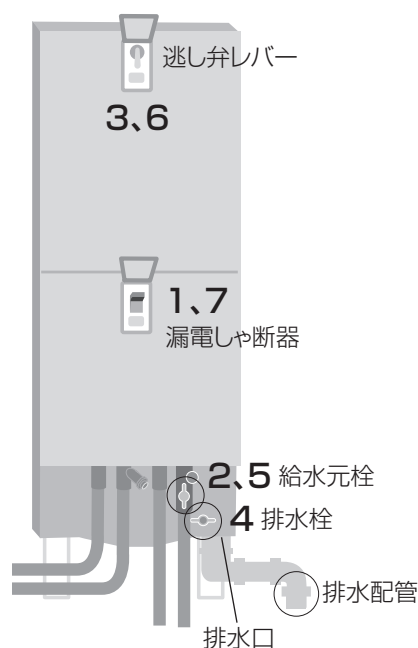


7 漏電しゃ断器を「入」にする



8 混合水栓のお湯側を開き、水が出るのを確認して閉じる

- 空気の混じった水(お湯)が出ることがあります。



※ 給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合は
お買い上げの販売店にご確認ください。
(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)

点検する

安心してお使いいただくために点検を行ってください。

日常の点検

- 床面に水漏れしていませんか？
(集合住宅では階下へ被害が及ぶおそれがあります)
- 吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
(能力低下や故障の原因になります)
- ドレンホース(一般地向けのみ付属)や排水経路が、ごみ、凍結などで詰まっていますか？
(ヒートポンプユニットからの水漏れの原因になります)

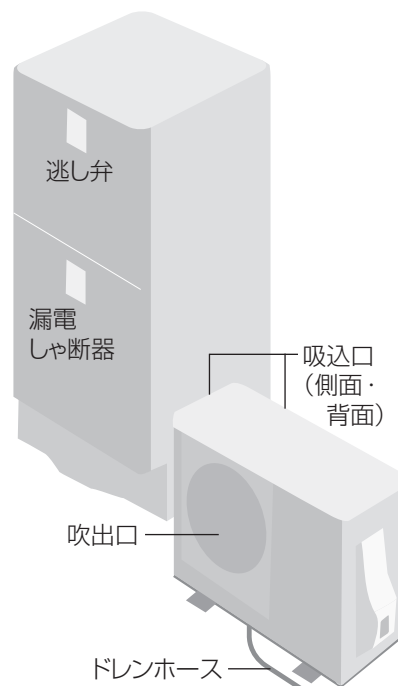
お願い

- 不具合や水漏れするときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

- 沸き上げ運転中は、逃し弁レバーが下がっていても、水からお湯になるときの膨張水が、排水口や排水配管から排水されます。(故障ではありません)

※図は一般地向けで説明しています。



警告



近くにガス類の容器や引火物を置かない

(電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります)

年に2～3回の点検



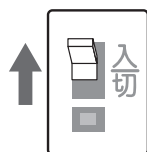
漏電しゃ断器

作動点検をする

- 1 通電中に漏電しゃ断器のふたを開けて、テストボタンを押す



- 2 漏電しゃ断器が「切」になるか確認する
- 3 漏電しゃ断器を「入」にし、ふたを閉じる



お願い

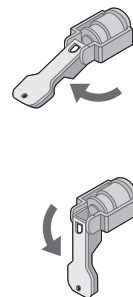
- 点検により作動不具合や水漏れするときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

逃し弁

- 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.35)

<作動点検をする>

- 1 ふたを開け、逃し弁レバーを上げる
- 2 排水口または排水配管からお湯が出ることを確認する(約10秒間)
- 3 逃し弁レバーを下げ、お湯が止まることを確認する
- 4 ふたを閉じる



<水漏れ点検をする>

- 1 リモコンに「沸上中」が表示されていないことを確認する
- 2 排水口または排水配管からお湯が出ていないか確認する
 - お湯が出ているときは→逃し弁レバーを数回上下に動かし、お湯が止まるかを確認する。



警告



排水口や排水配管から出るお湯に触れない

(やけどの原因になります)

お願い

- 逃し弁の作動点検中は、お湯を使用しないでください。(混合水栓やシャワーから熱いお湯が出る場合があります)

お手入れする／点検する

点検する (つづき)



定期点検(推奨)について

ヒートポンプ給湯機を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくために、逃し弁、減圧弁など3年に1回程度の専門技術者による定期点検整備をおすすめします。お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

逃し弁、減圧弁など、設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な点検が必要です。

長期間(10年程度)使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年となっており、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

■ 定期点検整備について

- お申込み先 お買い上げの販売店
- 点検整備内容 安全性の点検整備・システム機能の点検整備(配管など)・消耗・劣化しやすい部品の交換

■ 定期点検整備の主な内容

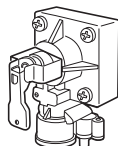
項 目	点検整備の内容
据付状態の点検	- 配管接続部の水漏れ確認 - 電気絶縁チェック - 配管保温材の確認 - 設置面の確認
機能部品の点検	- 逃し弁の水漏れ確認 - ポンプの点検 - 減圧弁の点検 - 給水しゃ断弁の点検(屋内用のみ) - 電気部品(配線、導通)動作の確認
清掃・整備	- タンク下部のスケール沈殿物の排出 - ストレーナー(フィルター)の清掃 - 機能部品の清掃 - ドレンの清掃

消耗部品について

逃し弁、減圧弁は消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。点検の結果、部品交換が必要な場合、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

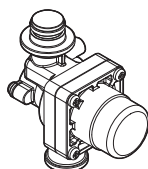
●逃し弁

使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



●減圧弁

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム(ゴム製)や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



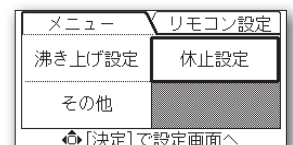
一定期間使わないとき

旅行などで一定期間使わないときは、沸き上げを休止できます。一定期間電源を切っておくときは、ヒートポンプユニットやタンク、配管の凍結による破損、水漏れの防止のため水抜きをしてください。長期間(1か月以上)使わないときも、タンク内を清潔に保つため、水抜きをしてください。

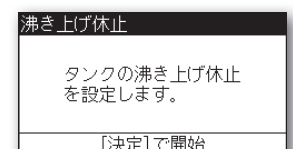
1～15日使わないとき(沸き上げを休止する)

休止設定

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「**休止設定**」を選び **決定** を押す

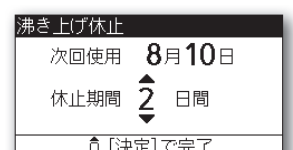


- 2 **決定** を押す



- 3 ▲▼で「**休止期間**」を設定し、**決定** を押す

- 休止期間は1～15日間の設定ができます。
- 1日間に設定すると、夜間時間帯まで沸き上げを休止します。(時刻は電力契約により異なります)



休止期間を変えるとき

手順1の後、「**期間変更**」を選び、**決定** を押す。
休止期間を変更して、**決定** を押す。

中止するとき

手順1の後、「**休止取消**」を選び、**決定** を押す。

- 次回使用日の前夜から沸き上げを再開します。
- 休止中でも外気温が低い場合は、ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため沸き上げ運転をします。

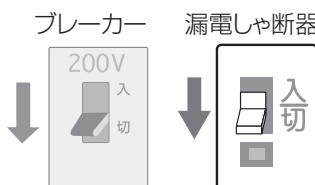
沸き上げ休止中ですが、凍結予防のため、沸き上げました。
[決定]を押して下さい。

一定期間電源を切っておくとき・1か月以上使わないとき(水抜きする)

水抜きは、0℃以下の環境下では排水中に凍結するおそれがあるため、0℃を超える環境下で実施してください。

① 電源を切る

- 1 配線用しゃ断器(ブレーカー)と漏電しゃ断器を「切」にする



② 貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きをする

■脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合
前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.35)

1 貯湯ユニット内のお湯をすべて排水する

- 1 混合水栓のお湯側と水側を開き、お湯が出なくなるまで出す。必ず水を混ぜてぬるめのお湯にしてから排水してください。(タンク内を水にする)
 - 2 混合水栓の水側を閉じる。
 - 3 給水元栓*を閉じる。
 - 4 逃し弁レバーを上げる。
 - 5 排水栓を開く。排水中は逃し弁レバーを下げない。(タンク破損のおそれ)
 - 6 排水配管から、水が流れ出なくなったことを確認する。(約 80 分かかります)
 - 7 少量の残水があとから出ないことを確認するため、さらに約 1 時間お待ちください。
 - 8 混合水栓のお湯側を閉じる。
- ※ 給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)

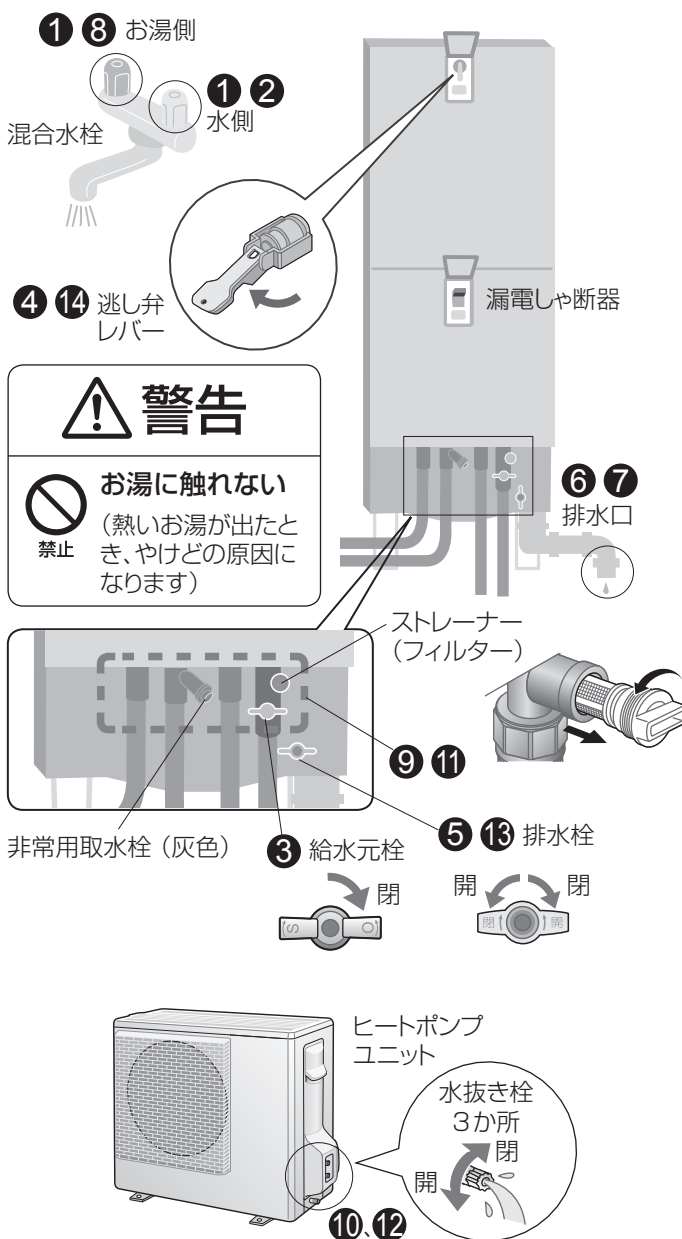
2 配管などに残った水を抜く

- 9 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を左に回してゆるめ、ストレーナーは、はずす。屋内用の場合、水抜き栓(屋内用のみ)1か所は、はずす。(P.7)
- 10 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)をゆるめる。(抜かないでください)
 - 配管途中に水抜きバルブ*が取り付けられているときは、すべて開いてください。
 - ※ 水抜きバルブは、工事により取付位置が異なります。不明なときはお買い上げの販売店にご確認ください。

3 排水口や排水配管から水が出なくなったら

- 11 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける。(イラストのつまみの向きは一例です)
- 12 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)を閉じる。
 - 配管途中の水抜きバルブを開いたときは閉じてください。
- 13 排水栓を最後に閉じる。(故障の防止)
- 14 逃し弁レバーを下げる。
 - 水抜きをしたときは、凍結予防ヒーターの電源プラグを抜いておいてください。(P.28)

QRコードから、
水抜きの手順を動画で
ご覧いただけます。
※内容は予告無く変更される場合があります。



再びご使用になるときは、「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.26)に従ってください。

点検する

一定期間使わないとき

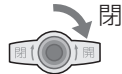
タンクのお湯(水)を抜いたとき

給湯機のお湯(水)を抜いたときは、給湯機を満水にして配管内の空気抜きの後、水を沸き上げる必要があります。給湯機を満水にしないと故障の原因となり、使用できません。

① 給湯機を満水にする

■ 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合
前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.35)

1 排水栓を「閉」にする

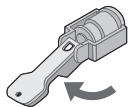


2 給水元栓を開ける

- 給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合は、お買い上げの販売店にご確認ください。(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)



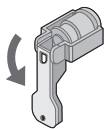
3 逃し弁レバーを上げる



4 排水口または排水配管から、水が出ることを確認する

- 連続で水が出始めたら満水。約30～40分かかります。

5 逃し弁レバーを下げる



② 配管内の空気を抜く

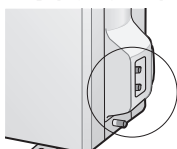
6 <混合水栓からの空気抜き> 混合水栓のお湯側を開き、 空気まじりの水が出なくなり、 連続的に水が出始めたら閉じる

- お湯の出し方は混合水栓のタイプで異なります。



7 <ヒートポンプユニットからの空気抜き> 水抜き栓(3か所)を開き、 空気まじりの水が出なくなり、 連続的に水が出始めたら、水抜き 栓(3か所)を閉じる

- 1回転以上回して、1分以上水が出ることを確認してください。水抜き栓は抜かないでください。

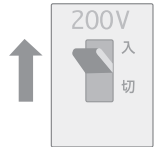


水抜き栓(3か所)
ヒートポンプユニット

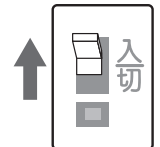
- ヒートポンプユニット内の「空気抜き」を確実にしないと、ヒートポンプ給湯機が故障する原因となります。

③ 電源を入れる

8 配線用しゃ断器 (ブレーカー)を 「入」にする



9 漏電しゃ断器を 「入」にする

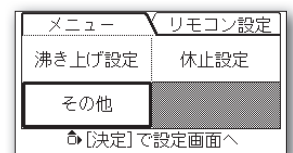


お願い

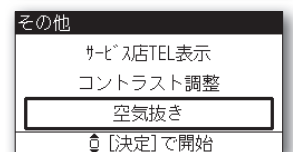
- 必ず、タンクを満水にしてください。ヒートポンプユニットの空気抜きが完了していることを確認してから電源を入れてください。

④ 再度、配管内の空気を抜く

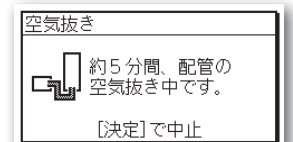
10 メニュー/戻る を押す メニュー の「その他」を 選び 決定 を押す



11 ▲▼で「空気抜き」を 選び、決定 を押す

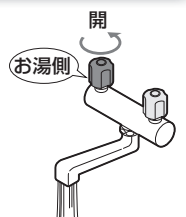


- 約5分で終了します



12 混合水栓のお湯側を開く。 空気まじりの水が出なくなり、 連続的に水が出始めたら閉じる

- タンク全量沸き上がるのは翌朝です。
- すぐに使いたいときは、続けて
沸き増し を押し、タンクにお湯がたまるのを待ちください。(P.11)



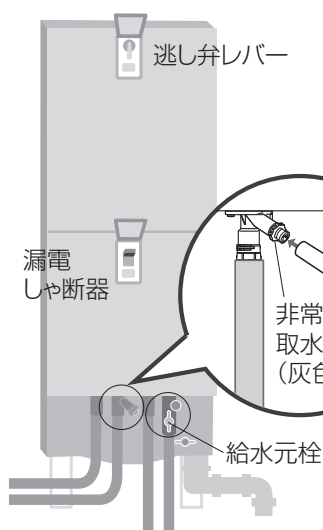
断水したとき・停電したとき

断水したとき

給水元栓を閉じる

■脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合
前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.35)

- 給水元栓を閉じないと、タンクのお湯や水が濁る場合があります。断水復旧後にお湯や水の出る勢いが小さくなる場合があります。
- 給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。(配管工事により、取り付け位置が異なる場合があります)
- 断水中は、給湯やお湯はりができません。

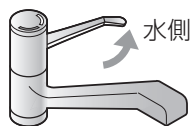


復旧したとき

復旧後は、お湯を使う前に断水中配管にたまった汚れた水を出してからお使いください。

1 混合水栓の水側を開けて、水を十分出す

- 汚れた水が出なくなれば、閉じる。



2 給水元栓を開ける

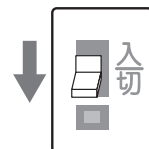
断水中にタンクのお湯を生活用水に使用した場合は、「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.26)に従ってタンクを満水にしてください。

断水中、タンクの水を生活用水に使う

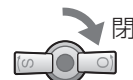
■脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合
前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.35)

- 断水中は蛇口が使いません。
- 市販のホースを接続して、タンクの水を生活用水として使えます。(飲用は避けてください)

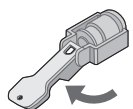
1 漏電しゃ断器を「切」にする



2 給水元栓を閉じる



3 逃し弁レバーを上げる

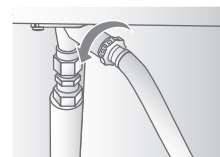


4 市販のホースを非常用取水栓に差し込む

- 推奨品：網入り水道用ホース(内径 15 mm)

5 お湯(水)を出す

- ダイヤルを持ち、左に回す。(ホースがはずれないよう注意する)
- お湯(水)を出している間は逃し弁レバーを下げない。(タンク破損のおそれ)



警告



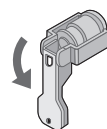
お湯に触れない

(熱いお湯が出たとき、やけどの原因になります)

6 使用後は、お湯(水)をとめる

- ダイヤルを持ち、右に回す。

7 逃し弁レバーを下げる



凍結のおそれがあるとき

漏電しゃ断器を「入」に戻してください。

停電したとき

蛇口からお湯(水)が出ます

- タンクのお湯は使えますが、温度調節できません。必ず湯温を確かめてからご使用ください。
 - ・飲用する場合は、一度沸騰させてください。
 - ・高温のお湯が出る場合があります。冬場など水温の低いときは、湯温が低くなる場合があります。
 - ・タンクのお湯がなくなった後は水が出ます。



復旧したとき

リモコンの決定スイッチを押すと、停電前の画面表示に戻ります。(給湯機の時刻や沸き上げモードは記憶されています)

- リモコンの時刻表示が正しいことを確かめてからお使いください。

タンクのお湯(水)を抜いたとき／断水したとき・停電したとき

凍結のおそれがあるとき

外気温が0℃以下になると配管が凍結するおそれがあります。

寒冷地だけでなく、一般地でも凍結する場合がありますので、凍結のおそれがあるときは、必ず凍結予防・凍結防止を行ってください。



注意



●凍結のおそれがあるときは電源を切らない

(配管などが凍結して破損することがあるため、水漏れの原因になります)

禁止

電源を切るときは、水抜きをしてください。(P.24、25)

ヒートポンプ給湯機の凍結予防をする

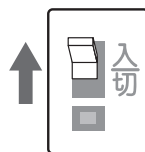
外気温が0℃以下になると、ヒートポンプユニット配管などが凍結するおそれがあります。電源を入れたままにしておくで凍結予防します。

1 漏電しゃ断器を「入」のままにしておく



凍結予防運転

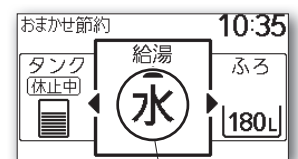
- 外気温が約3℃以下になると、ヒートポンプユニット配管の凍結予防のためポンプを作動させます。ポンプが作動しても配管温度が上がらないときは自動的に沸き上げ運転を行い、凍結予防します。
 - 漏電しゃ断器は切らないでください。
 - 不凍水抜き栓による凍結予防工事がされている場合は、お買い上げの販売店に凍結予防方法を確認してください。
 - ヒートポンプユニットの周囲に積雪などの障害物がある場合は、取り除いてください。
- タンクに水がある状態で漏電しゃ断器を「切」にしておくと、水漏れの原因になります。



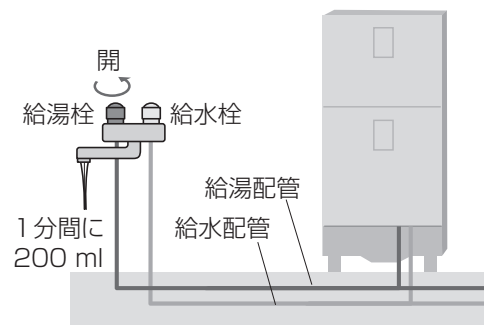
給水・給湯配管の凍結防止をする

凍結予防工事を行っていても、外気温が0℃以下になると配管が凍結することがあります。リモコンで湯温を「水」に設定して少量の水を流し続けてください。

1 ▼で湯温を「水」に設定し給湯栓を少し開いておく(1分間に200 ml程度)



水に設定

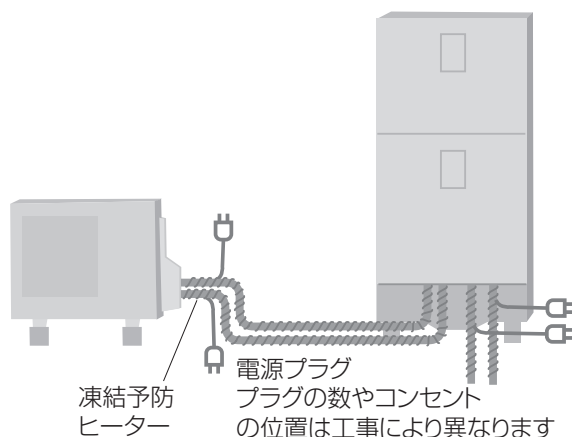


凍結予防ヒーターを使う

冬季に外気温が0℃以下になる地域では、配管に断熱工事が施工されていても凍結します。各配管に市販の凍結予防ヒーターを巻いて、配管を加温することで凍結を予防してください。

※凍結するおそれのない場合は、ヒーターは巻かれていません。不明なときはお買い上げの販売店にご確認ください。

1 すべてのヒーターの電源プラグをコンセントに差し込む



- 外気温が低くなると自動的に凍結予防ヒーターに通電して配管の凍結を予防します。
- 凍結のおそれがあるときは、すべての凍結予防ヒーターに通電してください。
- 停電中、凍結したときは停電復旧後、凍結予防ヒーターに通電して解凍します。
- 凍結するおそれのない季節は、電源プラグを抜いてください。
- 長期不在などで水抜きをしたときは、電源プラグを抜いておいてください。

お願い

- 配管は断熱材で覆われています。断熱材が破損していると凍結するおそれがあります。破損している場合や、配管が断熱材から露出している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？

こんなとき		ここをご確認ください
給湯	お湯が出ない	● 給水元栓が閉じていませんか？→開いてください。(P.26) ● 断水していませんか？→復旧したら処置をしてください。(P.27) ● 給水配管が凍結していませんか？ →凍結が解消するまでお待ちください。
	お湯の出が悪い	● ガス(石油)給湯機と比べると、若干お湯の出が弱くなります。 →水道の圧力を減圧して一定の水圧に調整しています。 ● リモコンの給湯温度を60℃に設定し、水と混ぜてご使用ください。(P.10) 混合水栓のタイプによっては、蛇口を全開にしてもお湯の出が悪いことがあります。 ● 2カ所以上でお湯を使うと、蛇口やシャワーから出るお湯の量が少なくなることがあります。
	お湯の出が悪い	● 貯湯ユニットの給水口のストレーナー(フィルター)にごみなどが詰まっていませんか？ →次の手順で掃除を行ってください。 ①漏電しゃ断器を「切」にして、給水元栓を閉じ、逃し弁レバーを上げる。 ②ストレーナーをはずし(水が最大200 ml程度出ます)、網を掃除する。 ③ストレーナーを取り付け、給水元栓を開ける。 ④排水口または排水配管から水が出ることを確認し、逃し弁レバーを下げる。 ⑤漏電しゃ断器を「入」にする。 ・掃除後もお湯の出がよくなる場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
お湯の温度	お湯がぬるい (設定した温度にならない) 給湯・シャワーの湯温が 上がらない	● 給湯温度の表示は目安です。 ・配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ・タンク内の湯温が低いときは設定温度にならないことがあります。 ● 配管内に残っている水が出てくることがあります。 →お湯が出るまで、しばらくお待ちください。 ● サーモスタットタイプの混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらないときは、リモコン側の給湯温度を約10℃高めに設定してください。(P.10) ● 1カ所のみ湯温がおかしいときは、混合水栓の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。 ● 混合水栓で湯側の量が少ないとき。 →リモコンに「給湯中表示」が出ていることを確認してください。(P.10)
	湯温が上下したり 水になったりする	● 次の場合が考えられます。 ・お湯を出したり止めたりをくり返したとき ・2カ所以上でお湯を使用したとき ・シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したとき ・沸き上げ中にお湯を使用したとき ・水道の圧力が変動しているとき ・台所などで少ししかお湯を出していないとき(水になります) →リモコンに「給湯中表示」が出ていることを確認してください。 →「給湯中表示」が出たり消えたりしているときは湯温が上下します。(P.8) ● リモコンで温度設定を高温にしたとき(安全のため一時的にぬるいお湯が出ます)

凍結の恐れがあるとき／故障かな？



故障かな？ (つづき)

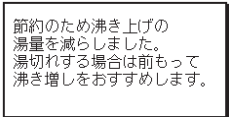
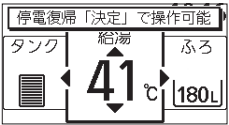
こんなとき		ここをご確認ください
リモコン	リモコンが点灯しない	●配線用しゃ断器(ブレーカー)または漏電しゃ断器が「切」になっていませんか？
	バックライトがすぐに点灯しない	●待機電力の節電のため、点灯に約 1 秒ほどかかります。お待ちください。
	リモコンが勝手に消灯する	●表示節電設定をしていると設定時間後、節電のためバックライトが消灯します。
	リモコンに何も表示されない	●落雷などでリモコンが一時的に(約 10 秒間)消灯することがあります。
	リモコンのメニュー画面が表示されない	●シンプル画面の設定になっていませんか？ (P.20)
残湯量表示	朝になってもタンクのお湯がいっぱいにならない (残湯量表示がすべて点灯しない)	●お湯をあまり使わない日が続くと、タンクいっぱいまで沸かさずにお湯を節約します。(P.12) ●冬季に外気温が低く、ヒートポンプユニットの能力が低下するときは、夜間にタンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。 ●夜間(沸き上げ運転中)にお湯を多く使うと、タンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。 ●「ピークセーブ」に設定している場合は、タンク内のお湯が少ない場合など、夜間時間帯にタンクいっぱい沸き上がらない場合があります。 ●「ソーラーチャージ」を設定している場合は、昼間時間帯と夜間時間帯に分けて沸き上げを行うため、朝にタンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。 ●沸き上げ運転中に長時間の停電が起こると、タンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。 ●夜間時間帯の設定が8時間未満の場合、この商品は8時間かけてお湯を沸かすため、条件によりタンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。(P.18)
	お湯がタンクいっぱいなのに沸き上げをする	●毎日の使用湯量が多いご家庭の場合は、次に使う分のお湯を確保するため、すぐに沸き上げをする場合があります。
	お湯が残っているのに、沸き上げをする	●ヒートポンプ給湯機の凍結を予防するために、沸かすことがあります。
	お湯を使っていないのに残湯量表示が減る	●お湯を使わなくても、タンクの放熱により湯温が下がり残湯量表示が減ることがあります。
	残湯量表示の減りかたが早い／遅い	●給水温度により使えるお湯の量は変化します。冬季、給水温度が低い場合は残湯量表示の減りかたは早く、夏場、給水温度が高い場合は、遅くなります。 ●タンクに残ったお湯は、お湯の温度が低くても、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げを行いません。前日のお湯の使用量が少なく、タンクにお湯が残った場合などは、タンクのお湯の温度が低いために、42℃換算での当日の残湯量表示の減りかたが、早くなります。
	使用可能湯量が前日より減った／増えた	●使えるお湯の量は、使用した湯量を学習しながら変化します。 ●タンクに残ったお湯は、お湯の温度が低くても、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げを行いません。前日のお湯の使用量が少なく、タンクにお湯が残った場合などは、タンクのお湯の温度が低いために、42℃換算での当日の使用可能湯量は少なくなります。
	使用可能湯量があるのに熱いお湯が出ない	●使用可能湯量は 42℃ に換算した湯量を表示しています。タンクに使えるお湯が十分あっても、タンクの湯温が低いときは、高温のお湯が出ません。
音声	音声案内をしない	●音声案内を「切」にしていますか？ (P.16)

こんなとき		ここをご確認ください
沸き上げ・沸き増し・ピークセーブ・ピークシフト	お湯がなくなった、 なくなりそう	●沸き増しスイッチを押してください。(P.11)
	沸き増し湯量の設定を変更 しても増えない(減らない)	●沸き増し湯量を選び決定スイッチを押しましたか？(P.11)
	お湯の使用量が 少ないのに湯切れする	●ふだんお湯の使用量が少なく、数日おきにお湯はりするご家庭では、お湯はり する日に湯切れする場合があります。 →沸き上げモードを「おまかせ」に変更してください。(P.12) →早めに「沸き増し」してください。(P.11)
	設定した湯量まで沸き増 しせず自動解除する 沸き増ししてもタンク いっぱいまで沸かない	●ほとんどお湯を使わずに沸き増しを行うと、ヒートポンプ給湯機の特性上、新 たに沸き上げできない場合があります。そのため、残湯量表示が全点灯にな らないことや、設定した湯量まで沸き増しせず自動解除することがあります。 (P.11) ●使用可能湯量の表示は、目安であり、設定した湯量分増えないことがあります。
	お湯が足りない (「おまかせ節約」のとき)	●沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。(P.12)
	お湯が足りない (ピークセーブ設定のとき)	●消費電力を抑えて沸き上げるため、たくさんお湯を使うと、足りなくなる場合があります。 →早めに「沸き増し」してください。(P.11) →ピークセーブ設定を「切」にしてください。(P.14)
	お湯があまる (「おまかせ」のとき)	●少なくしたいときは、沸き上げモードを「おまかせ節約」にしてください。 (P.12)
	ピークカットや「昼停止」 を設定中なのに、昼間に 沸き上げる 沸き上げ休止中なのに 沸き上げる	●ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため、外気温が低い場合は、沸き上げをする ことがあります。(P.28) ●ソーラーチャージを設定している場合、昼間に沸き上げを行います。(P.15)
	夜になっても沸き上げを しない	●ピークシフト設定「入」(お買い上げ時の設定)では、朝方に沸き上がるように 水温や残湯量によって沸き上げ開始時刻を調整するためです。(P.14) ●ソーラーチャージ設定時、昼間と夜間に沸き上げを行うため、夜になっても すぐに、沸き上げを開始しない場合があります。
	夜間時間帯の終了時刻 よりも早く沸き上げが 終わる	●前日の残湯量が多かったときは、早く沸き上げを完了することがあります。 ●冬季など外気温が低い場合は沸き上げ終了時刻が前後することがあります。 ●ピークシフト設定「切」にすると、早く沸き上げを完了します。(P.14)
ソーラーチャージ	停電復旧後や修理後、 夜間の沸き上げ湯量が 変わった	●沸き上げモードの設定が変更になっていないか確認してください。 ●沸き上げの学習は15日間以上電源を切っていたとき、修理時などは初期化さ れます。7日間で再度学習しますので、そのままお使いください。
	ソーラーチャージを設定 したのに、沸き上げない	●ソーラーチャージは夜間の沸き上げを減らし、翌日の昼間に沸き上げを行う機能 です。設定したその日は、ソーラーチャージ設定による沸き上げを行いません。 夜間時間帯までに設定すると翌日の昼間に沸き上げを行います。
		●ソーラーチャージ設定時間中にソーラーチャージ設定を変更すると、沸き上げ を終了することがあります。 時刻の変更は、ソーラーチャージ後から夜間時間帯の開始までに行ってください。 ●外気温が低い場合、機器保護のために凍結予防運転(沸き上げ)を行うことが あります。その際は、ソーラーチャージの沸き上げ時間が短くなるか、実施し ない場合があります。

故障かな？ (つづき)

こんなとき		ここをご確認ください
ソーラーチャージ	ソーラーチャージ設定を変更できない	●ソーラーチャージ設定時間中に、その日の設定時間の延長や変更はできません。 →ソーラーチャージ設定時間後に、変更してください。（翌日昼間の沸き上げが変更されます）
	ソーラーチャージを設定すると、お湯が足りない設定変更/取消すると、湯切れする	●ソーラーチャージを設定すると、夜間と昼間に分けて沸き上げるため、お湯を使うタイミングによっては、湯切れする場合があります。 →早めに「沸き増し」してください。
		●ソーラーチャージ中に、ソーラーチャージ設定時間を短く変更すると、昼間の沸き上げ量が不足し、湯切れする場合があります。 →早めに「沸き増し」してください。
		●ソーラーチャージ設定時間前や沸き上げ中に、設定を取り消すと昼間の沸き上げ量が不足し、湯切れする場合があります。 →早めに「沸き増し」してください。
本体・運転音など	貯湯ユニットの排水口・排水配管から水が漏れる	●沸き上げ中(リモコンの「沸上中」点灯時)： 異常ではありません。タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して水が出ます。
		●沸き上げ中以外(リモコンの「沸上中」消灯時)： →逃し弁レバーを数回上下に動かした後、逃し弁レバーを下げて水が止まることを、確認してください。 →上記操作後も、水が止まらない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ・漏れたままにしておくと、湯温の低下、湯量不足により水道代、電気代が高くなることがあります。
	ソーラーチャージ時間帯に、途中で沸き上げが終了する	●タンクの残湯量が多いときは、早く沸き上げを完了する場合があります。
	ヒートポンプユニットから水や蒸気が出る	●異常ではありません。 結露した水や霜取りをしたため、水や蒸気が出ます。
	ヒートポンプユニット底面から水が漏れている	●一般地向けの場合は、ドレンホースに波打ちや上り勾配があると、ほこりなどが詰まり、水漏れの原因になることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●寒冷地向けの場合は、底面のドレン口からドレン水を直接排水するためです。 ●外気温や湿度によって、底面に結露することがあります。
	ヒートポンプユニット背面が霜で白くなる	●冬季は運転中に霜がつくことがあります。
	貯湯ユニットから音がする	●沸き上げ運転中など、ポンプ作動時には音がします。
		●沸き上げ運転以外のときにも動作確認のモーター音がすることがあります。
	ヒートポンプユニットから音がする	●沸き上げ運転中や凍結予防運転中、音がします。 ●冬季など、外気温が低くなると運転音が大きくなる場合があります。 ●霜を取るために運転音がします。（運転、停止を繰り返します）
	浴そうの水やタイルが青くなる	●給湯水に含まれている銅イオンによるものです。人体に害はありません。（P.6）
	お湯が白く濁っている	●異常ではありません。水中に溶け込んでいる空気が細かい泡となっているためです。
	お湯から油が出る、お湯がくさい	●初めて使用するとき、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じることがありますが、しばらくすると消えます。
お湯や水を止めたとき、衝撃音（「ゴン、コン」という音）がする	●水圧が高い地域で発生します。 →水撃防止装置を取り付けるか、水撃低減機構付シングルレバーの混合水栓を使用するなどに対応することができます。お買い上げの販売店にご依頼ください。	
水栓などを交換するときは…	●給水元栓を閉じて、貯湯ユニット内のお湯が出ることがあります。 水栓やパッキンなどを交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	

こんな表示が出たら…

こんな表示は	ここをご確認ください
 節約のため沸き上げの湯量を減らしました。湯切れする場合は前もって沸き増しをおすすめします。	●おまかせ節約でタンクいっぱいまで沸き上げなかったことをお知らせします。夏季など、お湯の使用量が少ないときは節約のため全量沸かさないことがあります。 
 停電復帰「決定」で操作可能 タンク 給湯 41℃ 180L	●30分以上の停電が発生したことをお知らせしています。 →「決定」で元の表示に戻ります。

■ 次の表示は、対処後、漏電しゃ断器を「切」にし、約1分間後「入」にして異常表示を消してください

こんな表示は	ここをご確認ください
 エラーコード H94 タンク 給湯 41℃ 180L	●ヒートポンプユニットの空気抜き運転が不十分 →ヒートポンプユニットの空気抜きをする。(P.26) ●給水元栓が閉じている →給水元栓を開ける。 ●給水管が凍結している →お買い上げの販売店へ、凍結予防工事を依頼する。 H94

■ それでも直らないときや次の場合は、以下の対処後、お買い上げの販売店へご連絡ください

●上記以外の異常表示(H□□かF□□)が出た →給水元栓を閉じて、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。 ●凍結のおそれがある時期に異常表示が出た →配管が凍結して故障が拡大する場合があるため、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器および配管の凍結予防ヒーターは「切」にせず、すぐご連絡ください。

次の場合は、以下の対処を行った後、お買い上げの販売店へご連絡ください

- 貯湯ユニットの排水口・排水配管以外の場所から水が漏れる
→給水元栓を閉じて、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。

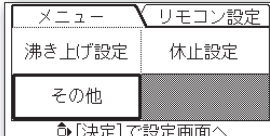
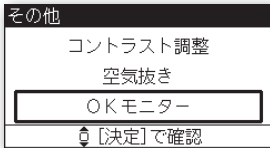
OKモニター／サービス店TEL表示

異常表示やサービス店の電話番号を確認し、お買い上げの販売店へご連絡ください。

異常の内容や連絡先を確認する

1 メニュー/戻る を押す
メニュー の「その他」を選び 決定 を押す

2 ▲▼で確認したい内容を選び、決定 を押す



OKモニター:
異常表示を再度確認する

- 異常表示は、順次繰り下げて新しいものを最も上に表示します。
(故障なく連続通電のまま異常なしで2週間経過すると、表示は自動的に削除されます)
- 1分後に自動終了します。

サービス店TEL表示:
サービス店の電話番号を確認する

- 試運転時に登録された場合のみ、表示されます。
- 1分後に自動終了します。

終了するとき 決定 を押す。

故障かな？／こんな表示が出たら…

次のような場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください

- ヒートポンプ給湯機を移設したとき
そのまま使用すると、正常に運転できないことがあります。

仕様

この仕様値は、JIS C 9220：2018（日本工業規格）に基づいた数値です。

			一般地向け			
			高圧力型		高圧力型 耐塩害仕様	
システム品番 (M) は屋内用			HE-J37JZ(M)S	HE-J46JZ(M)S	HE-J37JZES	HE-J46JZES
貯湯ユニット品番 (M) は屋内用			HE-J37JZ(M)	HE-J46JZ(M)	HE-J37JZE	HE-J46JZE
ヒートポンプユニット品番			HE-PJ45J	HE-PJ60J	HE-PJ45JE	HE-PJ60JE
適用電力制度			時間帯別電灯通電制御型／季節別時間帯別電灯通電制御型			
設置場所(貯湯ユニット)			屋外用((M)は屋内用)		屋外用・耐塩害仕様	
使用電源			単相 200 V (50／60 Hz両用)			
最大電流			16 A			
給湯モード試験時沸き上げ温度(冬期)		℃	70	65	70	65
給湯モード試験時沸き上げ温度(着霜期)		℃	70	65	70	65
年間給湯効率(JIS)* ¹			3.2			
寒冷地年間給湯効率(JIS)* ²			――			
夜間消費電力量比率* ¹		%	80			
貯湯 ユニット	タンク容量	L	370	460	370	460
	水側最高使用圧力(減圧弁設定値)	kPa	190 (170)			
	凍結予防ヒーター	W	――			
ヒート ポンプ ユニット	中間期標準加熱能力／消費電力* ³	kW	4.5／0.960	6.0／1.34	4.5／0.960	6.0／1.34
	冬期高温加熱能力／消費電力* ⁴	kW	4.5／1.50	6.0／2.00	4.5／1.50	6.0／2.00
	寒冷地冬期高温加熱能力	kW	――			
	運転音(音響パワーレベル) 中間期* ³ ／冬期* ⁴	dB	50／55	54／57	50／55	54／57
	設計圧力 高圧／低圧	MPa	14.0／9.0 (ゲージ圧)			
	冷媒の種類／充填量	g	R744／660	R744／660	R744／660	R744／660
	設置可能最低外気温度* ⁵	℃	－ 10			
沸き上げ温度範囲* ⁶		℃	約65～約90			
給湯温度		℃	水、32、35、38～ 47 (1℃刻み)、50、55、60			
外形寸法	貯湯ユニット：高さ×幅×奥行	mm	1810×600×680	2170×600×680	1810×600×680	2170×600×680
	ヒートポンプユニット：高さ×幅×奥行		672 × 799 (867) × 299 ()はカバーを含む			
質量	貯湯ユニット () は屋内用	kg	61 (62)	72 (73)	61	72
	貯湯ユニット満水時 () は屋内用		431 (432)	532 (533)	431	532
	ヒートポンプユニット		42	42	42	42
付属品	貯湯ユニット	リモコン・取扱説明書・工事説明書・保証書				
	ヒートポンプユニット	ドレンエルボ				

■ 次の値は、改正前の JIS C 9220：2011 (日本工業規格) に基づきます。

年間給湯効率 (JIS) ※ ¹	3.2
寒冷地年間給湯効率 (JIS) ※ ²	—
区分名	19

※ 1. 年間給湯効率 (JIS) は、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1 年間を通してある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、値は省エネモードである「おまかせ節約」で測定した値であり、実際には、地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。

(沸き上げモード「おまかせ」に設定した場合は、効率が低下し消費電力量が増える場合があります)

* 一定の条件とは、東京・大阪を平均とした気象条件・給水温度で 40℃ のお湯を 456 L 使用する条件を想定したものです。

年間給湯効率 (JIS) = 1 年間で使用する給湯熱量 ÷ 1 年間で必要な消費電力量

* 年間給湯効率算出時の条件

着霜期高温条件：外気温 (乾球温度 / 湿球温度) 2℃ / 1℃、水温 5℃、沸き上げ温度 90℃

寒冷地冬期高温条件：外気温 (乾球温度 / 湿球温度) -7℃ / -8℃、水温 5℃、沸き上げ温度 85℃

給湯モード条件 (冬期)：外気温 (乾球温度 / 湿球温度) 7℃ / 6℃、水温 9℃

給湯モード条件 (着霜期)：外気温 (乾球温度 / 湿球温度) 2℃ / 1℃、水温 5℃

* 夜間消費電力量比率：一定条件のもとにヒートポンプ給湯機を 1 日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

※ 2. 寒冷地年間給湯効率 (JIS) は、次世代省エネルギー基準 II 地域 (盛岡) を想定し、年間給湯効率 (JIS) を表したものです。

※ 3. 中間期：外気温 (乾球温度 / 湿球温度) 16℃ / 12℃、水温 17℃、沸き上げ温度 65℃

※ 4. 冬期高温：外気温 (乾球温度 / 湿球温度) 7℃ / 6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 90℃

※ 5. 寒冷地向けの場合、ヒートポンプユニットは、-20℃ ~ -25℃ で最高 80℃ 沸き上げが可能です。タンク全量沸き上げできない場合があります。

※ 6. ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。

・運転使用範囲 一般地向けの場合：-10℃ ~ 43℃ 寒冷地向けの場合：-20℃ ~ 43℃

・沸き上げ運転をしていないときでも電力を消費します。リモコン点灯時：約 3 W リモコン消灯時：約 2 W

また、外気温度が低いときは、凍結予防のため電力を消費します。

保証と アフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」「こんな表示が出たら…」(P.29～33)でご確認のあと、直らないときは漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名 家庭用ヒートポンプ給湯機

●品 番 HE-

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間 : お買い上げ日から本体・リモコンは1年間。
ただし、ヒートポンプユニット内の冷媒系統は3年間、貯湯ユニット内のタンクは5年間(水漏れ現象に適用)です。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 10年

当社は、この家庭用ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後10年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談窓口にご相談ください。

仕様／保証とアフターサービス

寒冷地向け 高圧力型	
HE-F37JZ(M)S	HE-F46JZ(M)S
HE-F37JZ(M)	HE-F46JZ(M)
HE-PF45J	HE-PF60J
時間帯別電灯通電制御型／季節別時間帯別電灯通電制御型	
屋外用((M)は屋内用)	
単相 200 V (50 / 60 Hz 両用)	
18 A	
70	65
70	65
3.1	
2.7	
80	
370	460
190 (170)	
99 (11 W × 9 個)	
4.5 / 0.975	6.0 / 1.37
4.5 / 1.50	6.0 / 2.00
4.5	5.4
50 / 55	54 / 57
14.0 / 9.0 (ゲージ圧)	
R744 / 610	R744 / 650
- 25	
約 65 ~ 約 90	
水、32、35、38 ~ 47 (1 °C 刻み)、50、55、60	
1810 × 600 × 680	2170 × 600 × 680
672 × 799 (867) × 299	() はカバーを含む
61 (62)	72 (73)
431 (432)	532 (533)
40	42
リモコン・取扱説明書・工事説明書・保証書	

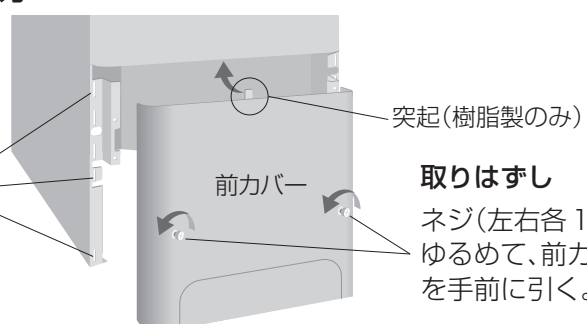
3.1	
2.7	
23	

■ 脚部化粧カバー(別売品)の取り付けと取りはずし方

- 配管のお手入れや点検、水抜きをするとき(P.23、25)などは次の要領で前カバーを取りはずしてから行ってください。

取り付け

前カバー上部の突起を本体に差し込み、左右の穴(各3か所)に前カバーのツメを合わせてネジ止めする。(前カバーが金属製の場合、突起はありません)



取りはずし

ネジ(左右各1本)をゆるめて、前カバーを手前に引く。

ご相談窓口

使いかた・お手入れ・修理などはまず、お買い上げの販売店へご相談ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>



給湯・電化
使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル
0120-878-695

パナは ロクキューゴ
受付時間
9:00~18:00 (年中無休)

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。



修理に関するご相談窓口

家電専門店・量販店でご購入されたお客様へ

フリーダイヤル
0120-878-554

パナは イイヨ
03-6633-6700

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**

■FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-225**



便利な修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>

住宅会社・工務店・工事店でご購入されたお客様へ

フリーダイヤル
0120-872-150

パナニ イコー

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **0120-872-150**

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします

特典

- お宅の家電商品、消耗品情報が一元管理できる!
- 登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる!
- 登録すると抽選で商品券などが当たる!

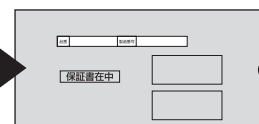
詳しくはこちら

<http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードを読み取っていただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録していただけます

QRコード



・QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

愛情点検

長年ご使用の家庭用ヒートポンプ給湯機の点検を!



こんな症状はありませんか

- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- 使用中にこげ臭いにおいがしたり異常な音や振動がする。
- 熱いお湯が出続ける。
- 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。
- 貯湯ユニット、配管から水が漏れる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社 エアコン事業部

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2018

ACXF55-19340
S0418FO